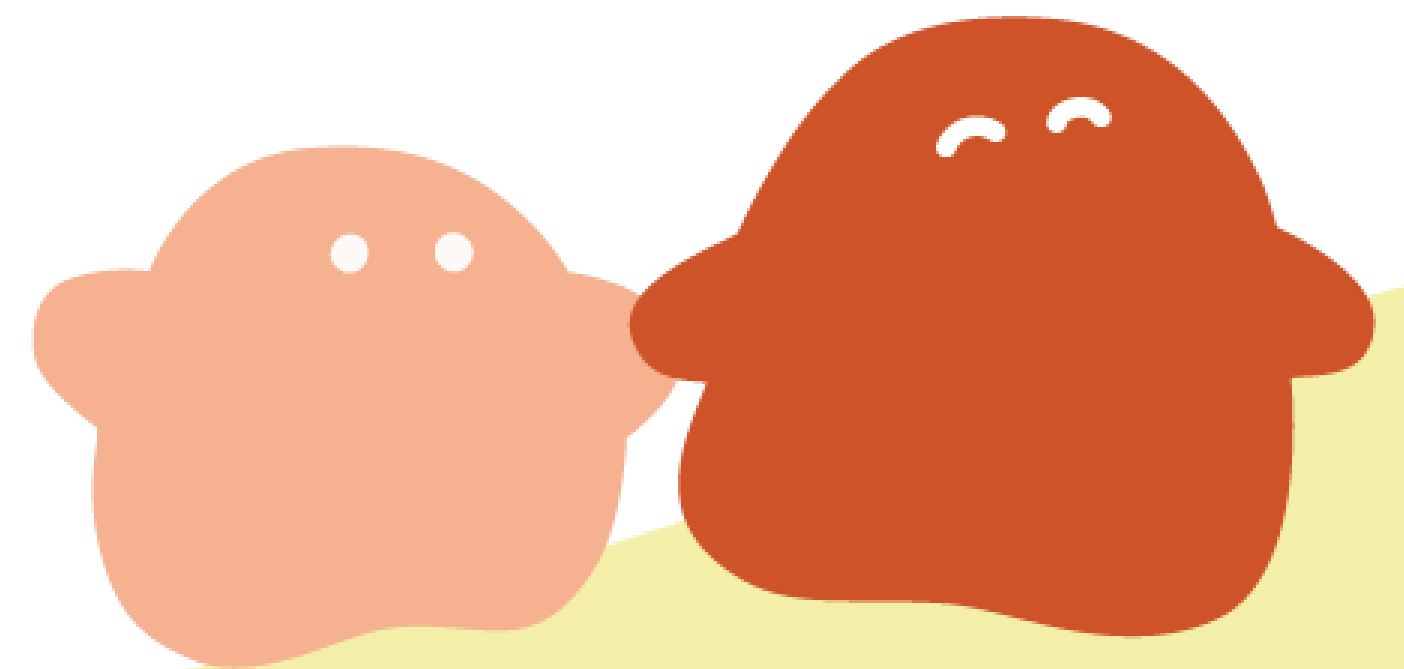
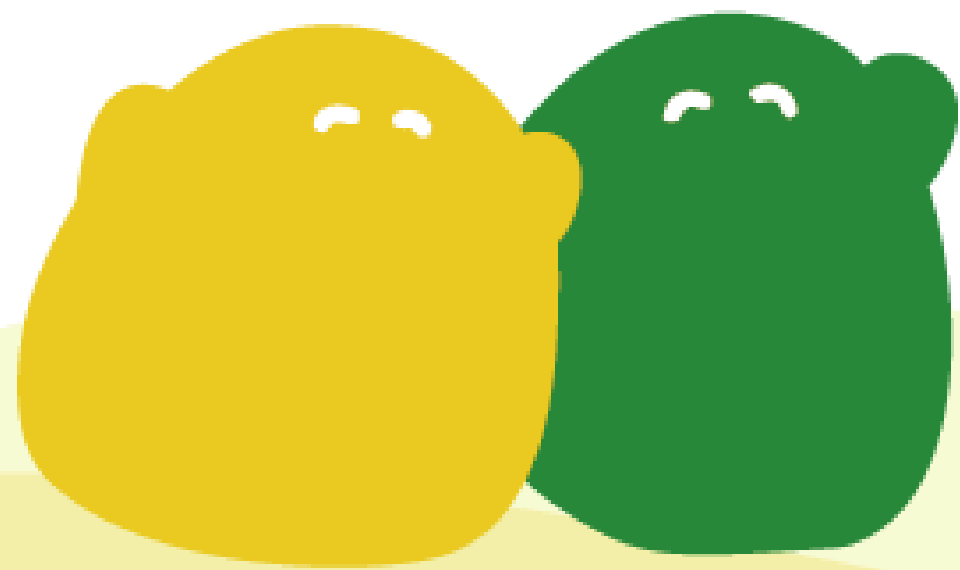
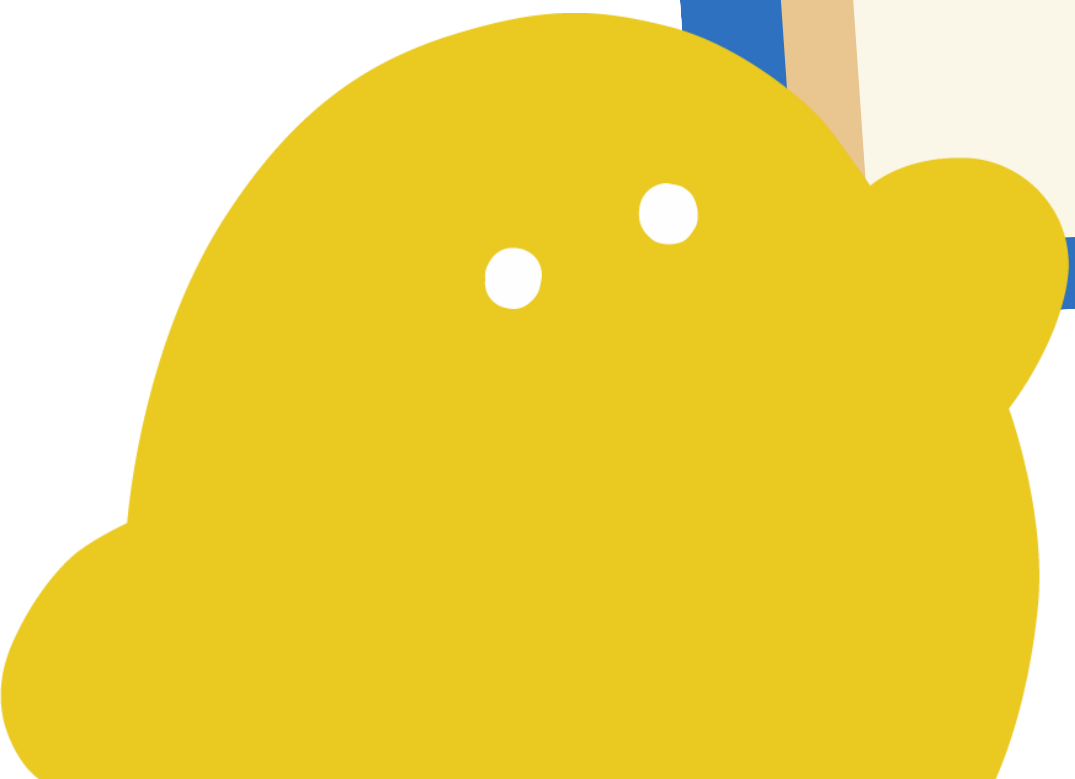




2025年3月期 第1四半期 決算プレゼンテーション資料



- 
- 
- 
- ① トップメッセージ
 - ② トピックス
 - ③ 中期経営計画
 - ④ 連結決算概況
 - ⑤ アイフル決算概況
 - ⑥ グループ各社決算概況
 - ⑦ 参考資料

03-08

09-13

14-18

19-26

27-32

33-41

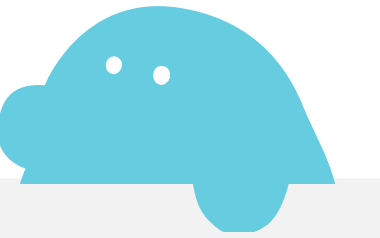
42-47

① トップメッセージ





連結業績



残高・トップライン2桁成長の持続と、将来利益の創出に向けたM&A推進

- 残高・トップラインとも2桁成長、増収・増益
- 将来利益の創出に向けてM&Aを実施
- 資本政策に基づき、自己株式を取得



詳細はトピックス参照

営業債権残高

24/6 **12,139**億円

25/3(E) 13,224億円

前年同期比 : +15.7%

年度計画進捗率: 91.8%

営業収益

24/6 **446**億円

25/3(E) 1,802億円

前年同期比 : +15.4%

年度計画進捗率: 24.8%

経常利益

24/6 **39**億円

25/3(E) 240億円

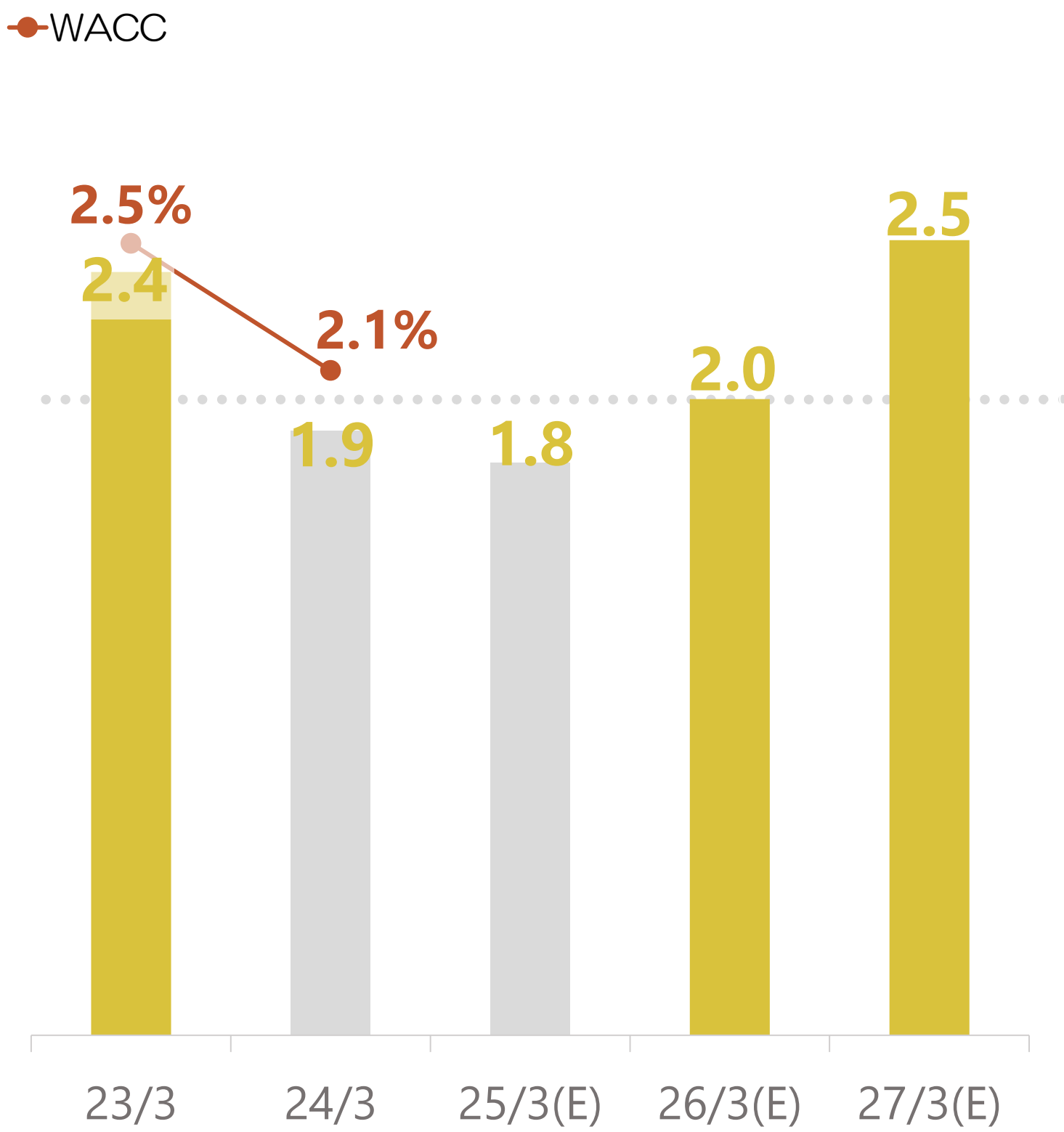
前年同期比 : +14.5%

年度計画進捗率: 16.3%

経営指標

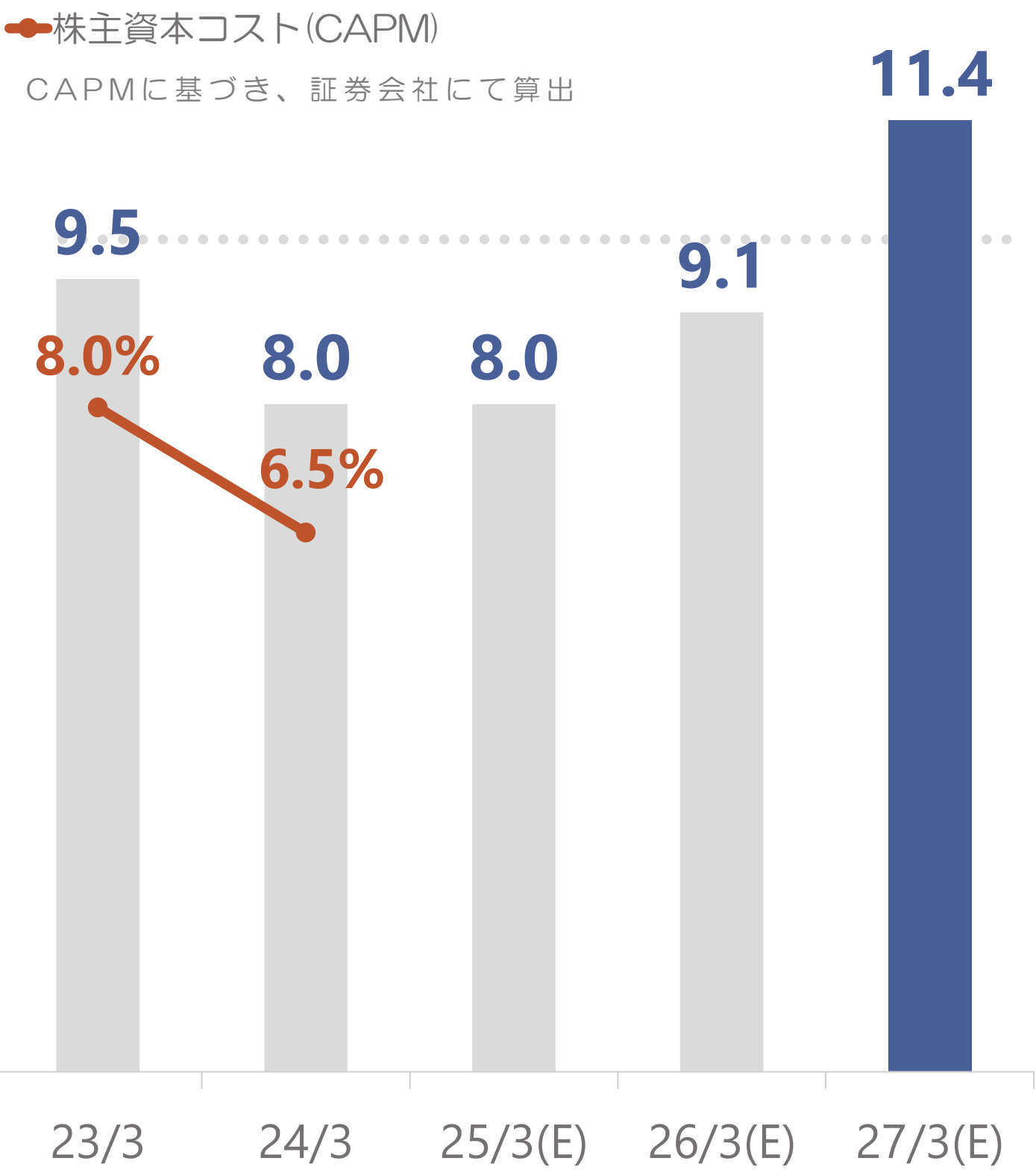
2%超

ROA



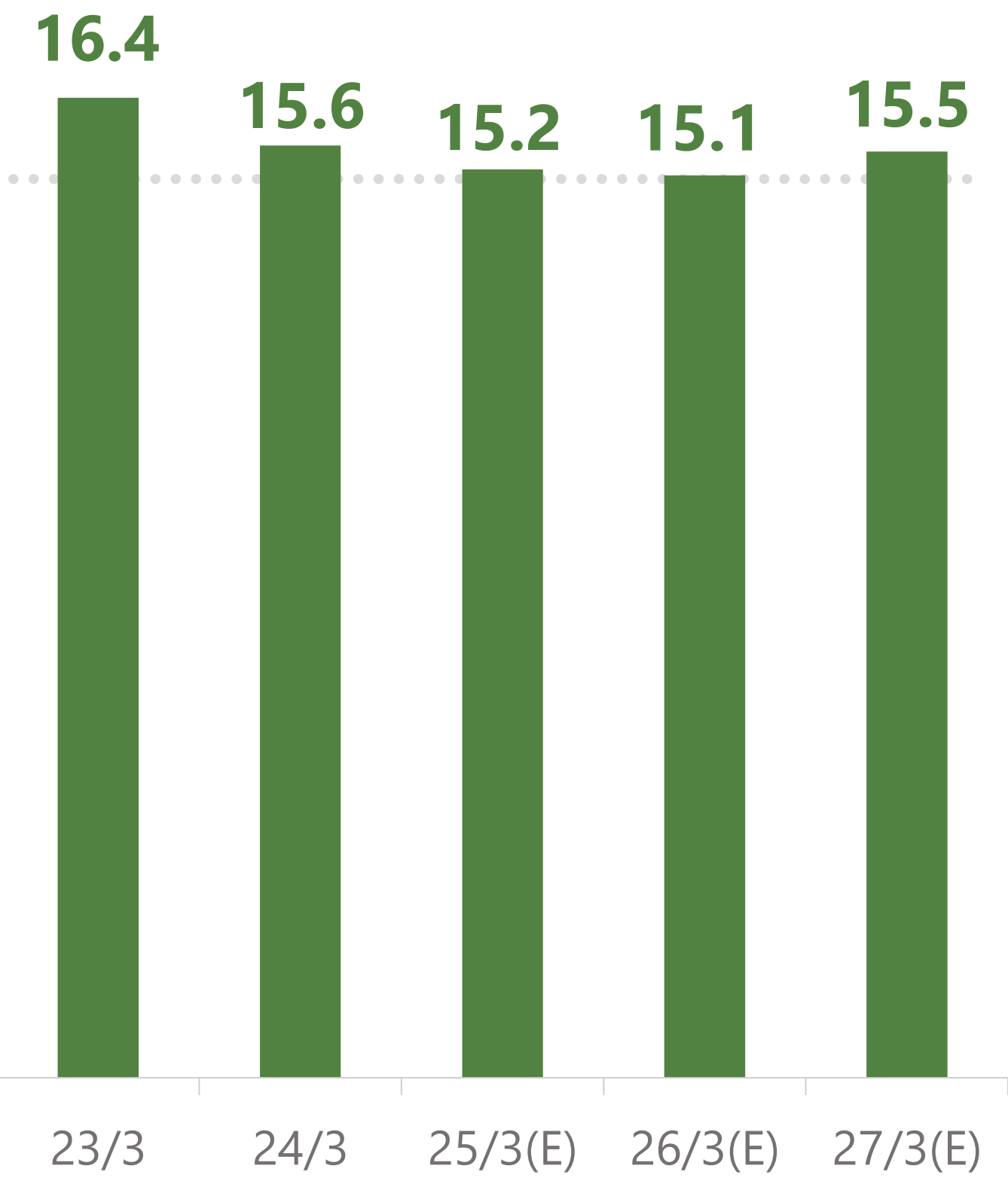
10%超

実質ROE*



15%以上

自己資本比率*

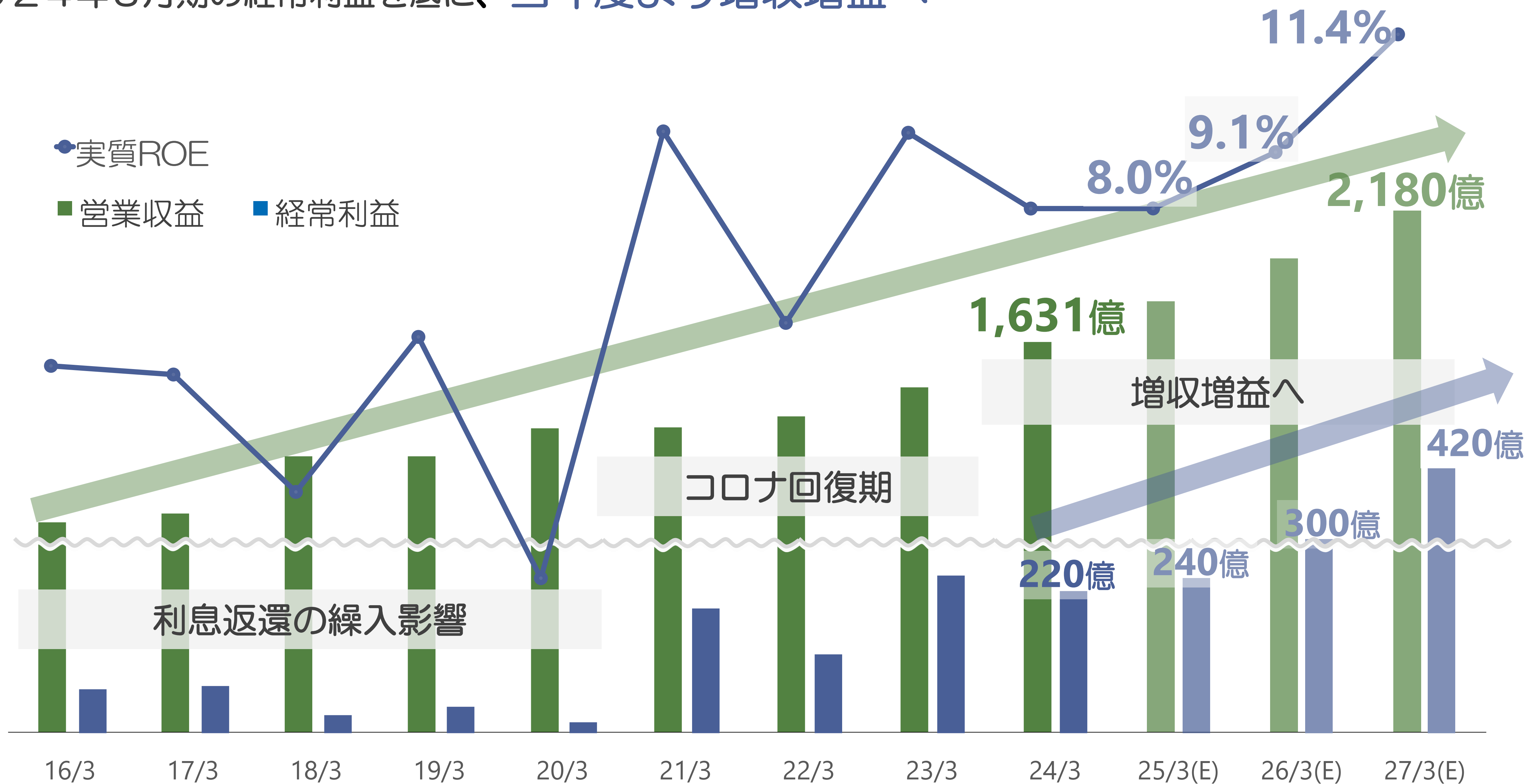


※実効税率を30%とした「親会社株主に帰属する当期純利益」をベースとしたROE

*資本政策・M&A投資による増減除く

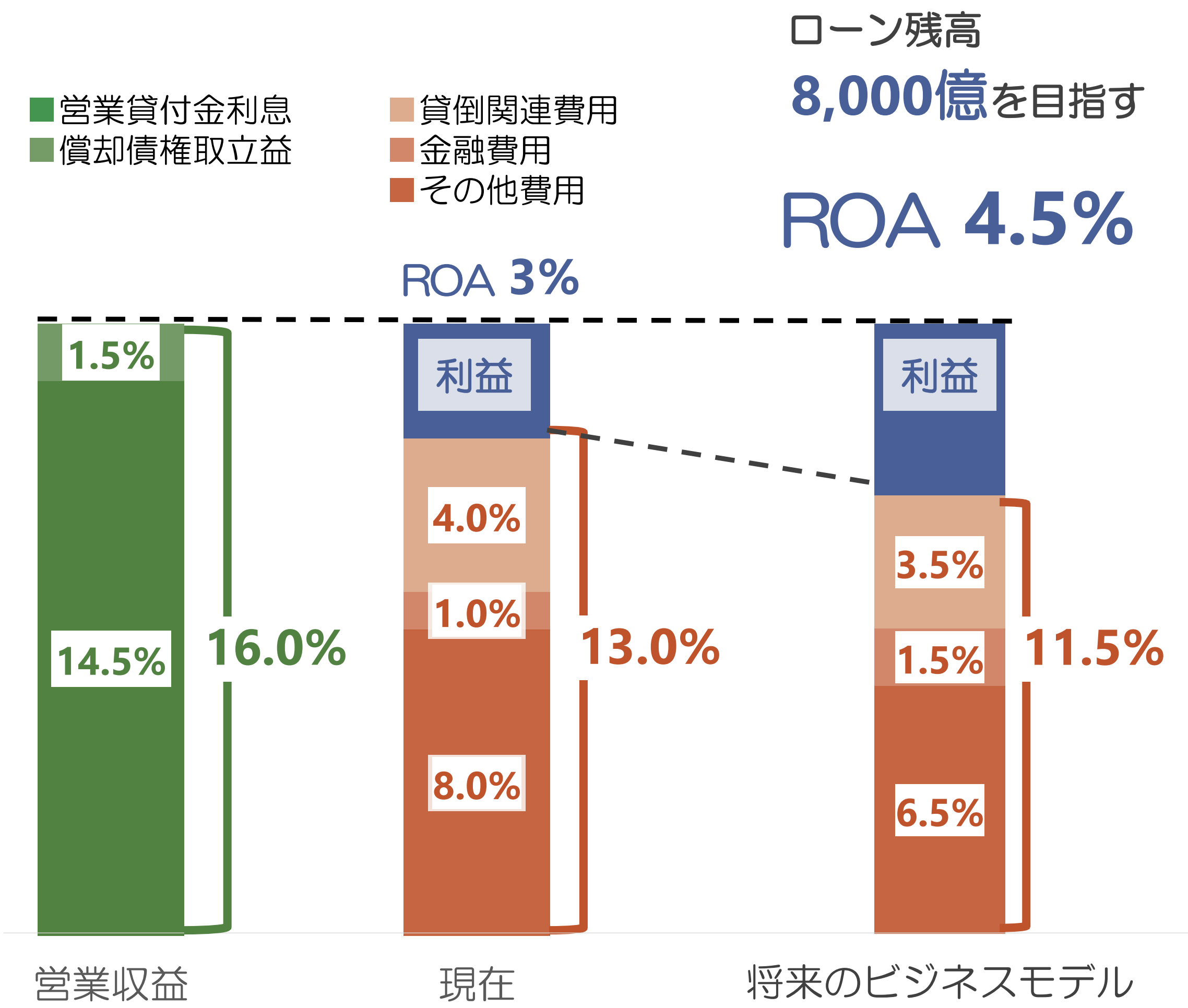
【連結】増収増益フェーズ

2024年3月期の経常利益を底に、当年度より増収増益へ



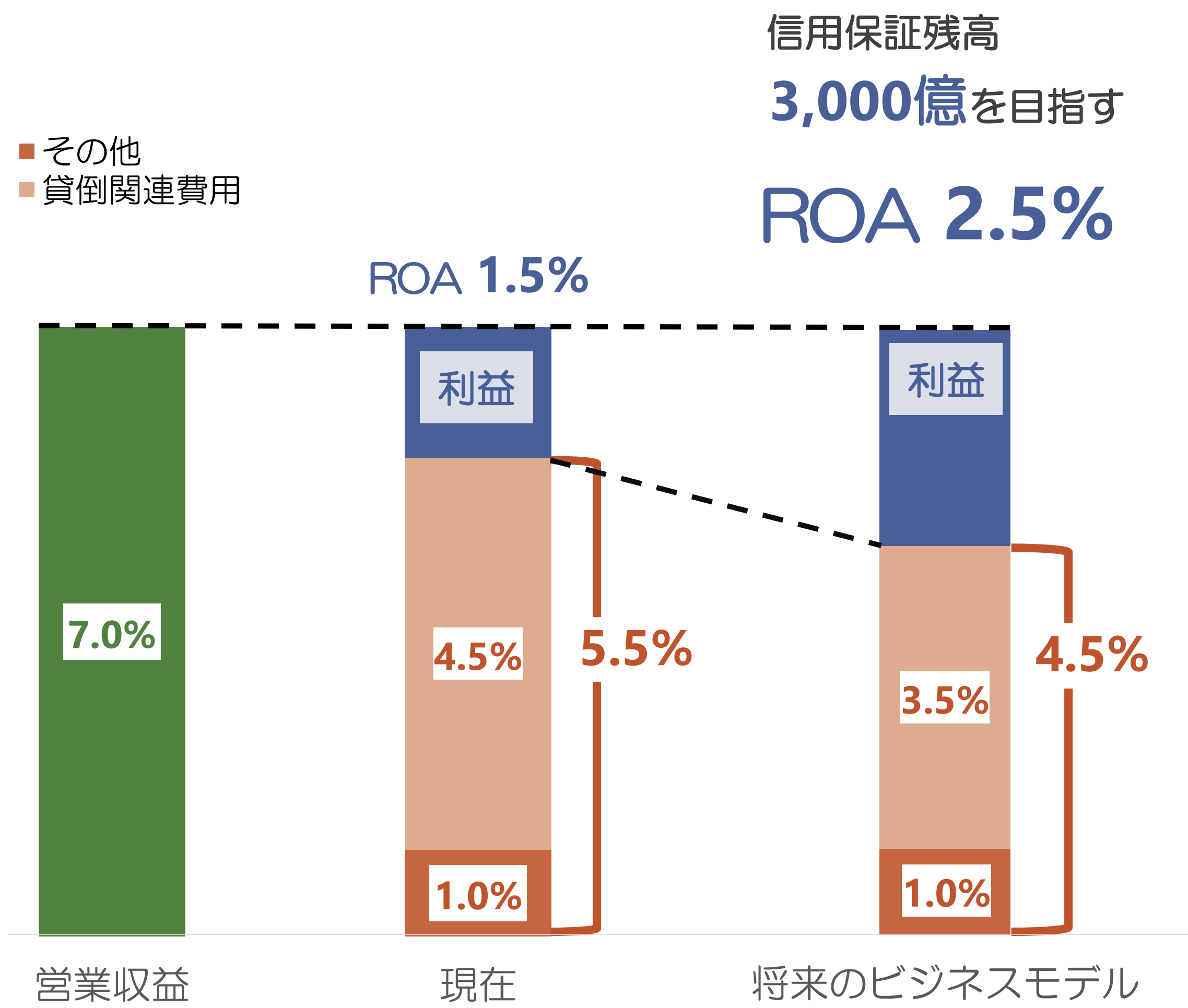
参考：今後の見通し ローン事業・信用保証事業（アイフル・ライフカード）

● ローン事業（ROA目安）



- ・ 残高安定により、残高比の貸倒関連費用は安定
- ・ 市場金利の上昇により、残高比で金融費用は増加
- ・ スケールメリットにより、残高比のその他費用は低下

● 信用保証事業（ROA目安）



- ・ 残高安定により、保証残高比の貸倒関連費用は安定

調整後営業利益とM&Aによる利益創出

●会計基準による影響を除き、実態ベースでこれまでの事業とM&Aでの将来利益の向上を示すため、調整後営業利益を定義。

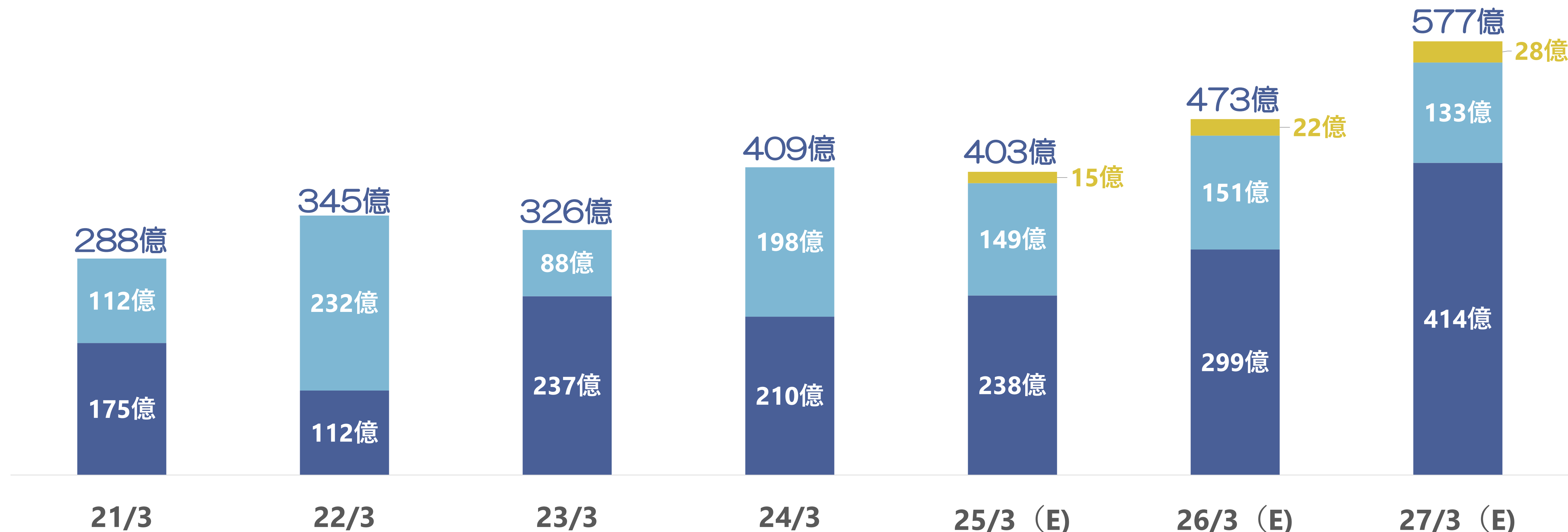
調整後営業利益の定義

①営業利益 + ②利益調整（貸倒関連費用＋利息返還関連費用＋減価償却費－貸倒損失）＋ ③M&A利益（個社営業利益（のれん償却未考慮））

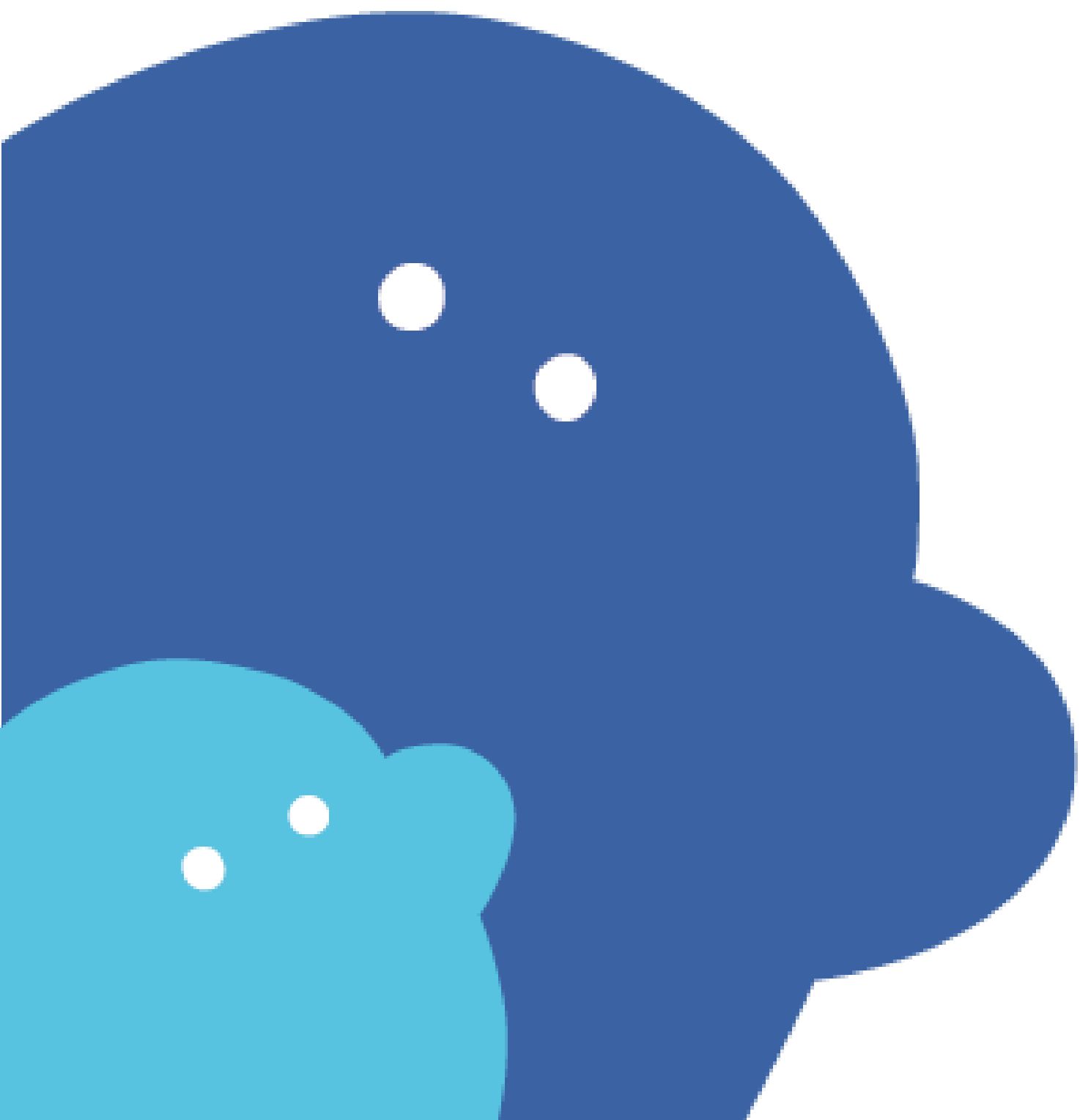
■ ①営業利益

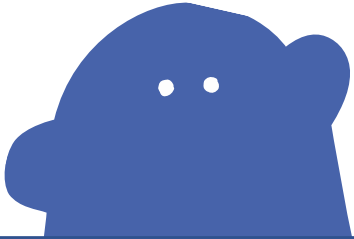
■ ②利益調整

■ ③M&A利益



② トピックス





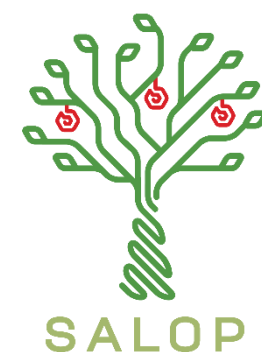
① M&A

- プリペイド式電子マネーの発行会社（ビットキャッシュ）の全株式取得



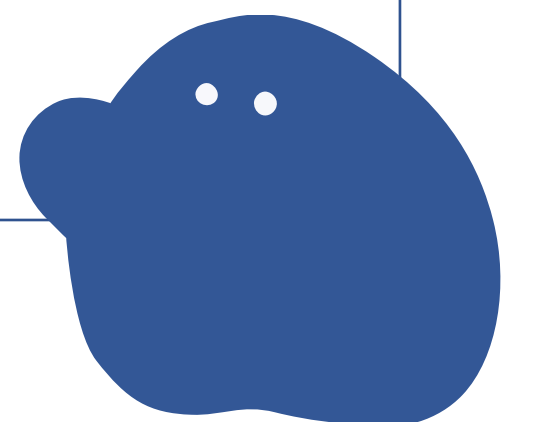
② M&A (SES)

- SES事業会社（セイロップ）の全株式取得(M&A)
- SES事業の中間持株会社構想の実現に向けて新会社設立（AG ソリューションテクノロジー）



③ 自己株式取得

- 515万株・20億円の自己株式を取得



トピックス ① M&A ビットキャッシュ（プリペイド式電子マネー）

- 2024 年 6 月 28 日、ビットキャッシュの株式譲渡手続きが完了（今期より、連結子会社）
- 取得原価は92億円

BitCash 事業内容

- プリペイド電子マネーの発行
- 電子マネーを利用した電子決済サービスの提供

単位：百万円	22/3	23/3	24/3
営業収益	5,105	5,483	5,002
営業利益	1,590	1,827	1,736
経常利益	1,414	1,595	1,717
当期純利益	857	862	1,134

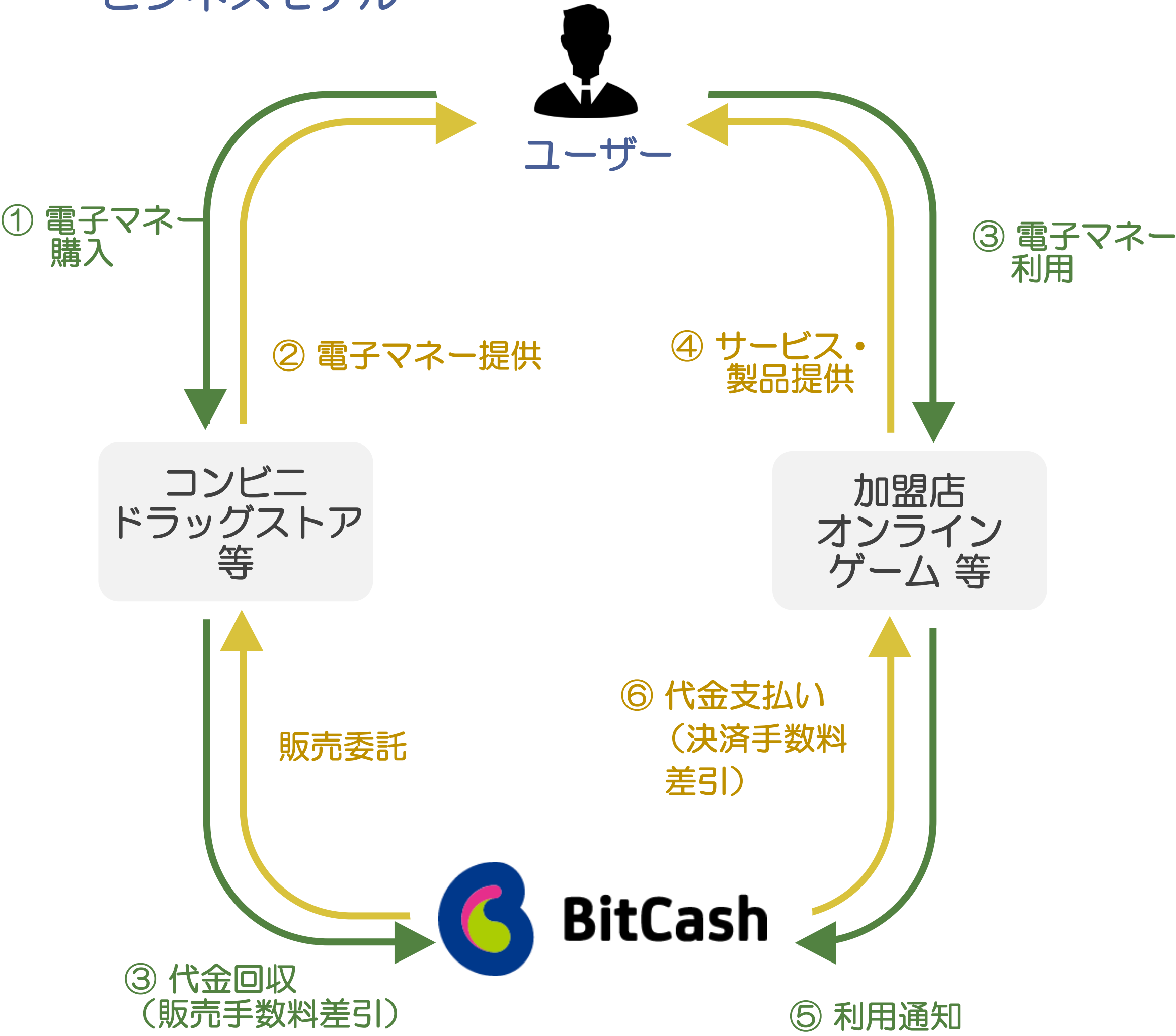
プリペイド式電子マネーの特徴（強み）

- 安全

 - ・ 使い過ぎの心配がない
 - ・ 個人情報の入力不要
- 便利

 - ・ 利用先豊富（オンラインゲーム、音楽配信 等）
 - ・ 大手コンビニ・ドラッグストアで購入可能

ビジネスモデル



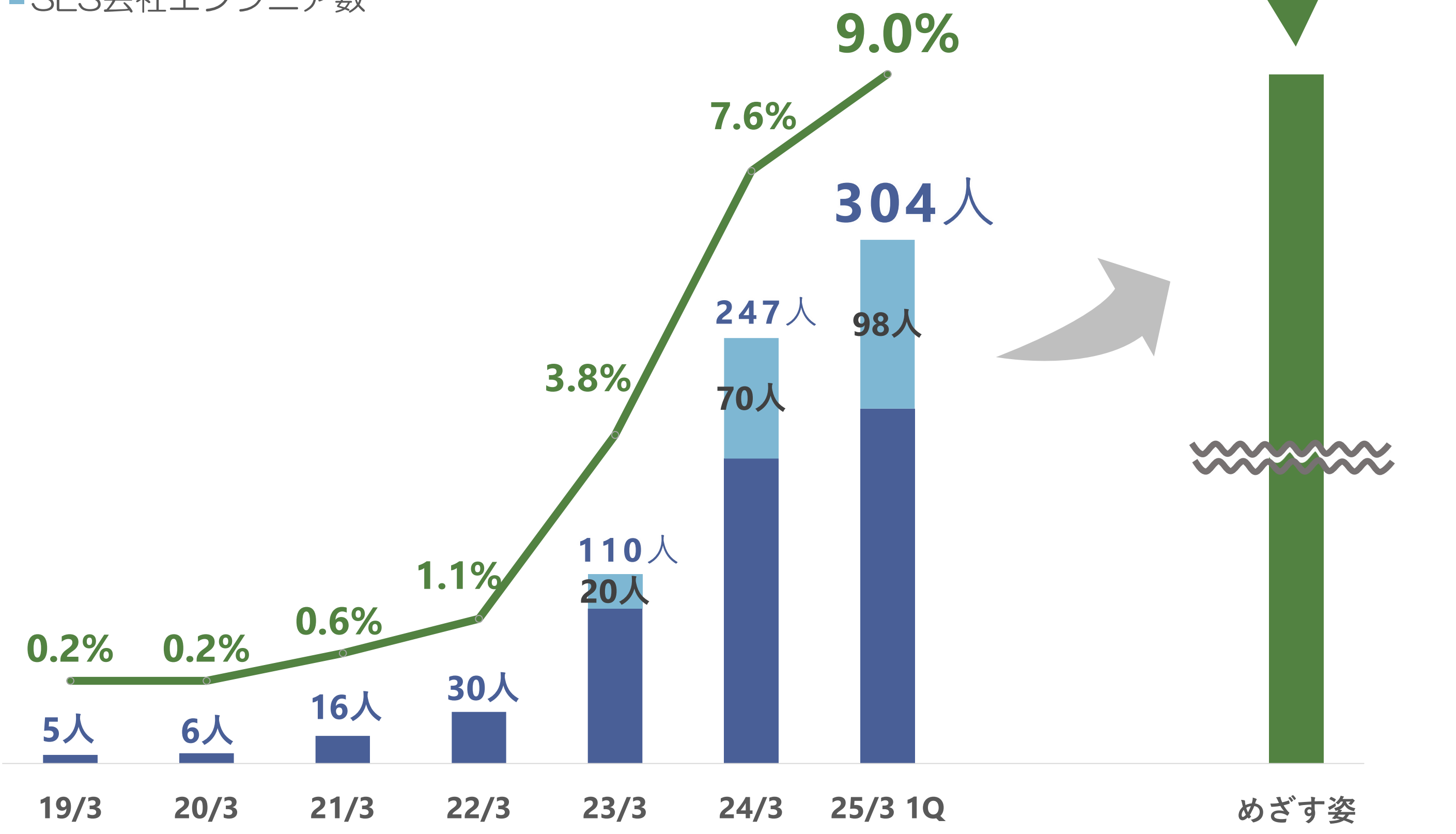
トピックス ②M&A セイロップ (SES事業)

- 2024 年 6 月 28 日、セイロップの株式の譲渡完了（非連結子会社）
- SES事業会社のM&Aは3社目



IT企業への変革に向けて
エンジニアは全社員の**25%**を目指す

■SES会社エンジニア数



SES 事業のロールアップ戦略 （中間持株会社構想）

- SES各社の特徴や強みを活かしつつ、経営管理・バックオフィス等の経営効率を高めることを目的に、アイフル配下にSES中間持株会社を設立
- セブンシーズ・リブロック・セイロップの3社を同社配下に移行させることを検討中

業務効率化

経営管理・ガバナンス・バックオフィス

事業拡大・専門特化

エンジニア・営業業務

トピックス ③株主還元（自己株式の取得）

- 資本政策に基づき、2024 年5月27 日開催の取締役会に決議した自己株式の取得を実施

● 取得結果

取得期間 ： 2024年5月28日 ～ 2024年7月23日

取得株式総数 ： 5,151,200株

取得株式総額 ： 1,999,984,674円

参考:2024 年5月27 日の取締役会決議の内容

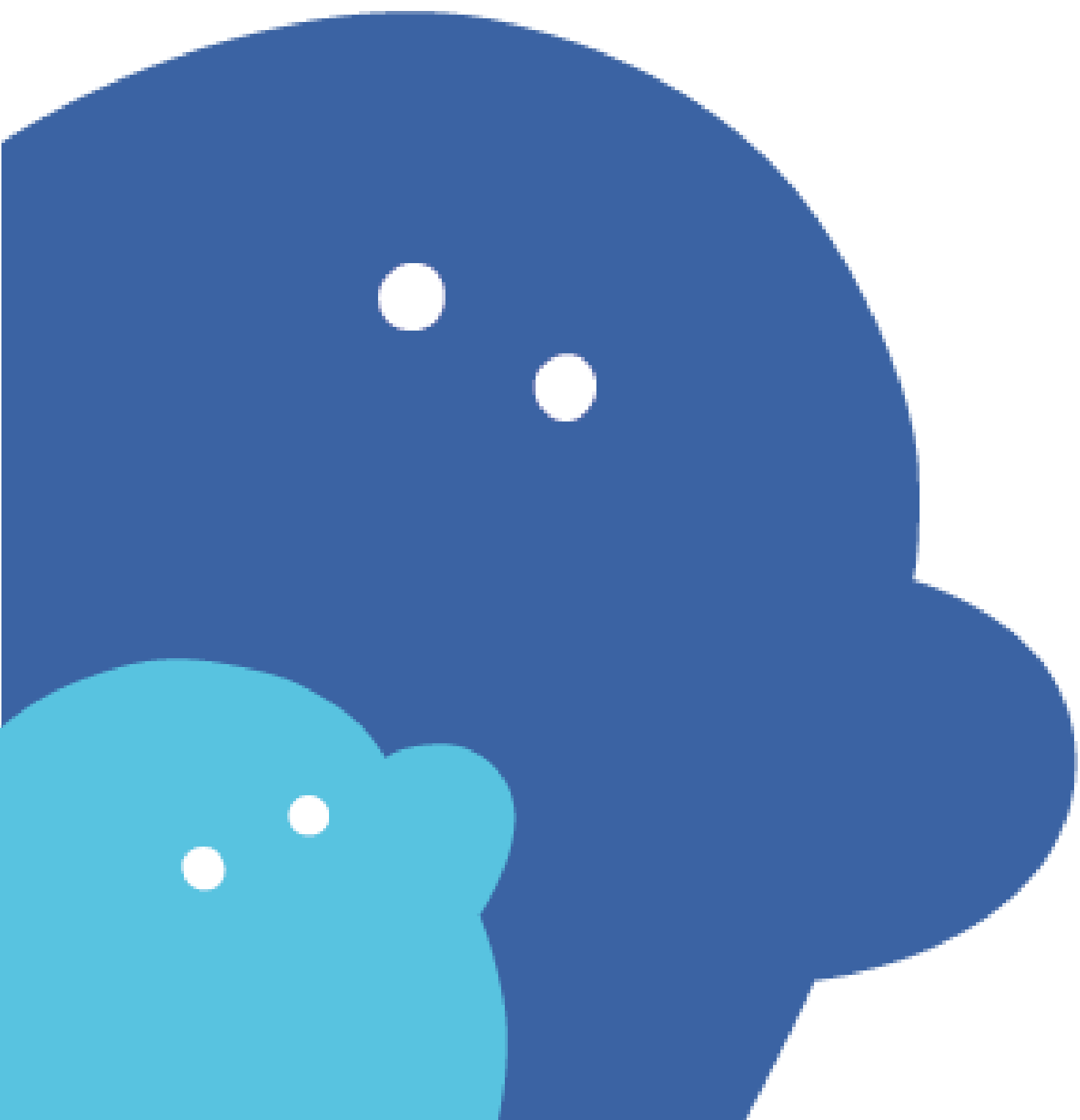
取得する株式の種類 ： 当社普通株式

取得する株式の総数 ： 600 万株上限

株式の取得額の総額 ： 20 億円上限

取得期間 ： 2024年5月28日 ～ 2024年7月31日

取得方法 ： 自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付



3 中期経営計画

24年5月公表のアップデート（補完）

P16 目指す姿 実質ROE

P17 連結利益計画の内訳

Try Harder ～あらたな成長ステージに向けて～

基本方針

● M&A推進

M&Aを推進し、トップラインのポートフォリオに変化をつける

投資額 ➡ 最大600億 [今後3年間]

利益創出 ➡ 新規事業にて利益を創出し、資本効率（ROE）の向上を目指す

● コスト構造改革

人員構成の見直しや社内エンジニアの活用などによるコスト構造改革に取り組む

3年間トータル削減効果 50億円以上

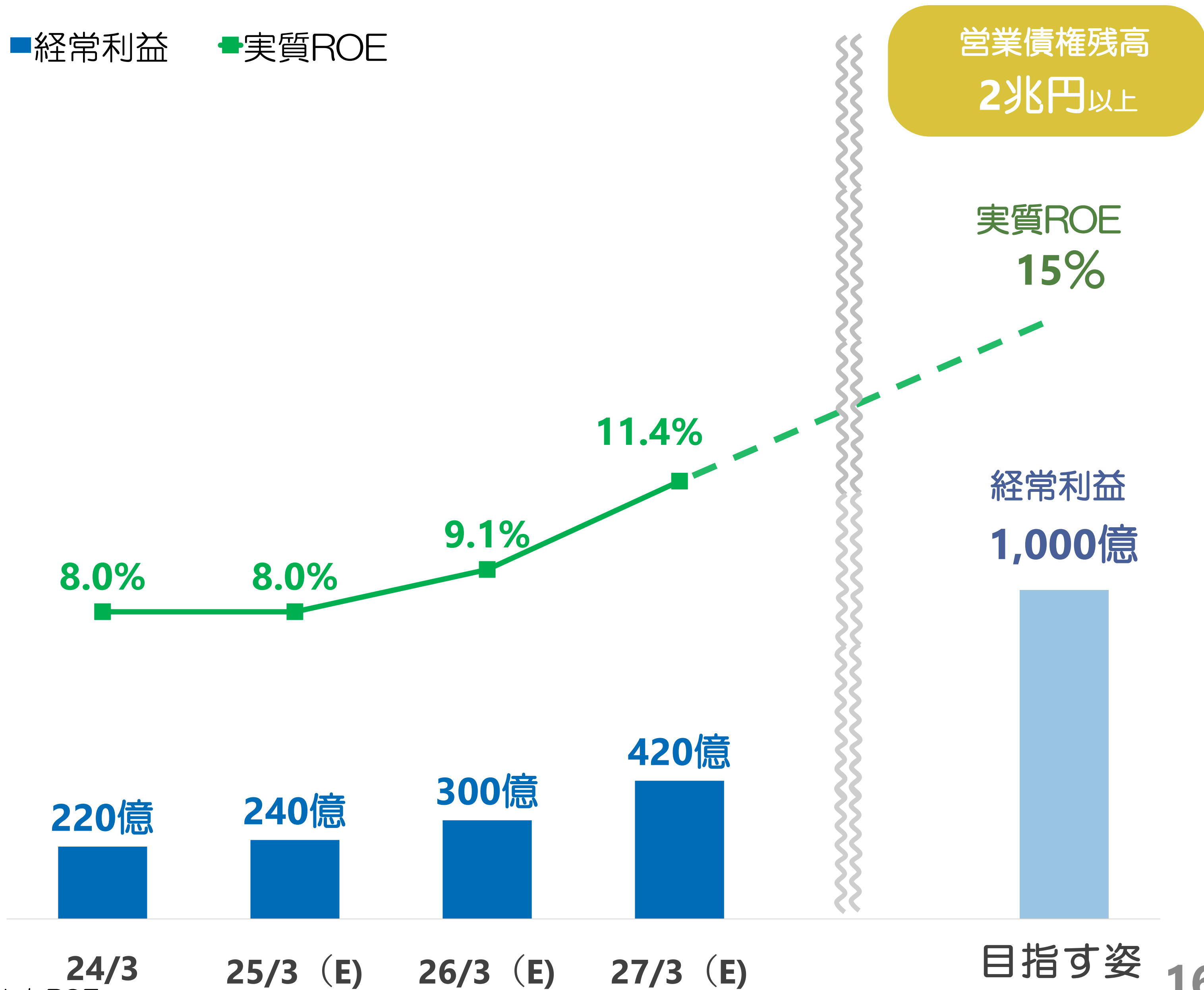
項目	3年間の削減効果（2025/3～2027/3）
① オペレーション業務全般を担う センター部門の生産性向上	・ センター運営費 10億円削減
② 債権回収の一元化効果 （グループ回収部門の集約化）	・ センター運営費 5億円削減
③ 社内エンジニアの内製化効果	・ 外部委託費用 15億円の削減効果※ ※社内エンジニアの内製化によって削減となる外部委託費用
④ 無人店舗150店舗以上の廃店	・ 店舗関連費用 20億円削減

【連結】計画

2024/3 実績
営業債権残高
1兆1,789億円
ローン事業
7,386億円
信用保証事業
2,411億円
クレジット事業
1,737億円
経常利益
220億円
ROA
1.9%
実質ROE*
8.0%

2027/3 計画
営業債権残高
1兆5,900億円
ローン事業
9,600億円
信用保証事業
3,100億円
クレジット事業
2,600億円
経常利益
420億円
ROA
2.5%
実質ROE*
11.4%

■経常利益 ■実質ROE



※実効税率を30%とした「親会社株主に帰属する当期純利益」をベースとしたROE

利益計画

-中期経営計画-

- 回収効率の向上を目的とし、サービサーのAG債権回収へグループ内の債権を譲渡する施策を実施
- アイフルは当該施策で債権譲渡益が発生、AG債権回収は貸倒関連費用が発生するが、連結会計では修正（相殺）される（以下実態ベース参照）

		2024/3	2027/3(E)	
経常利益（連結）		220億円	420億円	+200億円
消費者金融・信用保証	 	271億円	304億円	+33億円
実態ベース：グループ内債権譲渡の影響除外（連結修正影響）		222億円	281億円	+59億円
サービサー事業	 AG 債権回収	▲8億円	▲33億円	▲25億円
実態ベース：グループ内債権譲渡の影響除外（連結修正影響）		▲1億円	27億円	+28億円
事業性金融	 AG ビジネスサポート	▲0.4億円	20億円	+20億円
	 AG メディカル	2億円	10億円	+7億円
クレジット (カード+個別信用購入あっせん)	 LIFE CARD	9億円	15億円	+6億円
	 AG ペイメントサービス	▲0.6億円	47億円	+48億円
海外	 AIRA & AIFUL	▲13億円	12億円	+25億円
その他 AGキャピタル・持ち分・連結修正		2億円	8億円	+6億円

資本政策

● 自己資本比率 指標 15%以上

現状ステージ（残高成長期）においては、自己資本でカバーすべきリスクを踏まえ、自己資本比率は15%以上を維持

● 成長投資

【2025/3～2027/3】 投資額 最大 600億円

M&A

設備投資

- グループシナジー
- 将来性（成長性）
- 連結ROE 10%以上に寄与

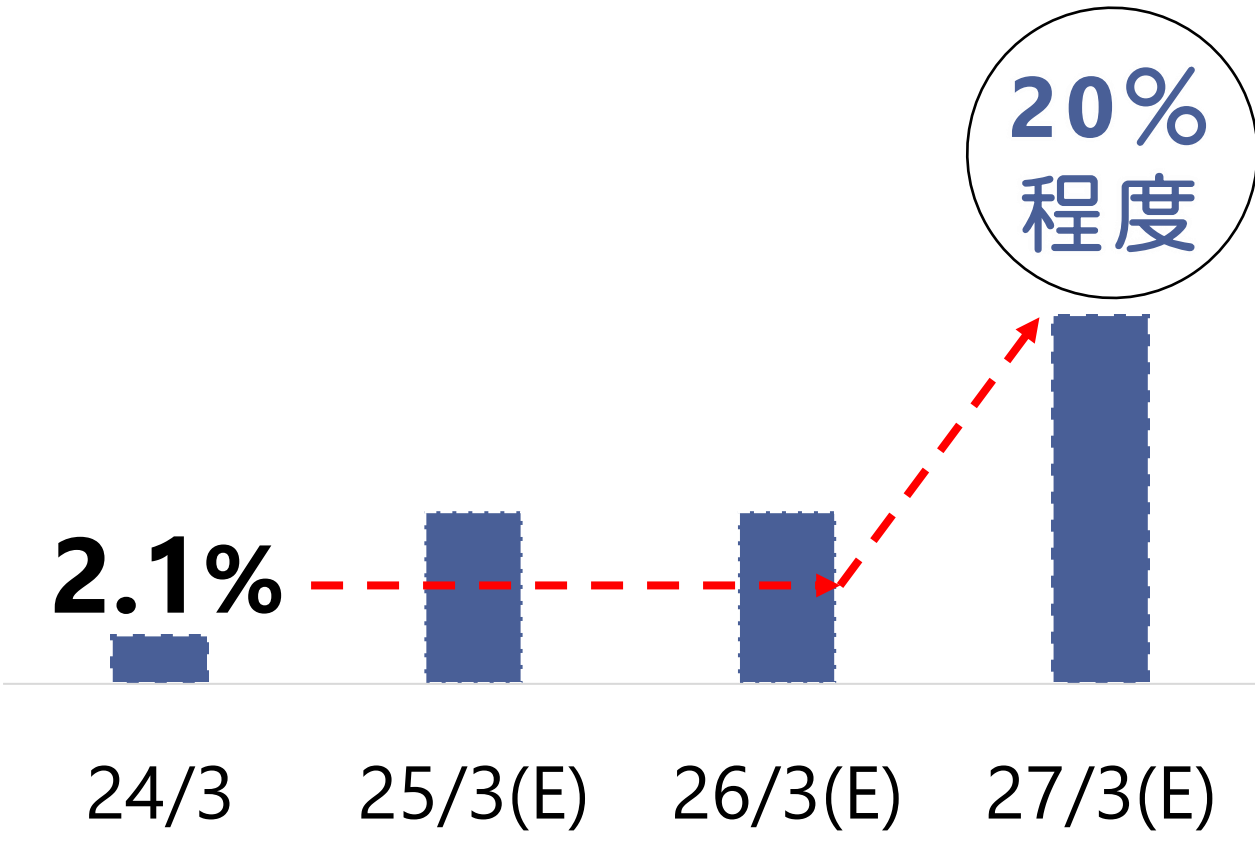
● 株主還元

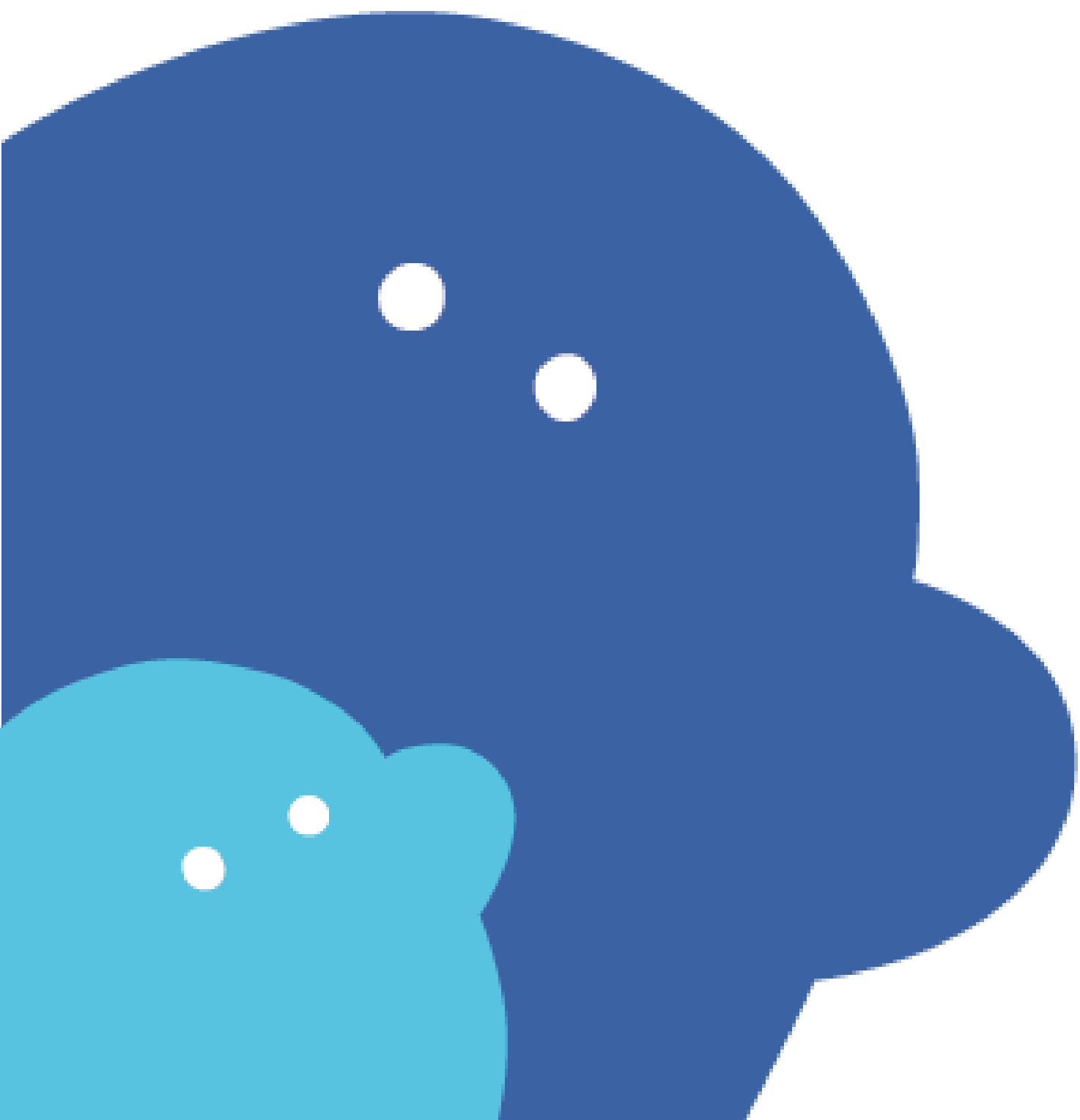
【2027/3】 総還元性向 20%程度を目標

自己株式の取得

配当

成長投資を基本としつつ、株主還元を向上させ、計画最終年には総還元性向20%程度を目標とする





4 連結決算概況

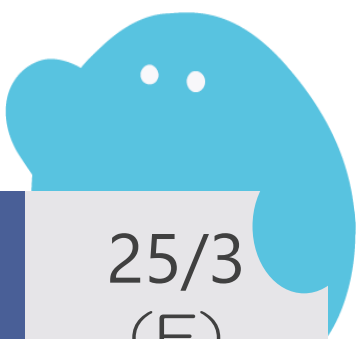
【連結】 主要数値・通期計画



単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	25/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高	1,049,127	1,178,983	1,213,968	164,840	15.7%	1,322,400	143,416	12.2%
ローン事業	668,294	738,676	756,304	88,009	13.2%	816,000	77,323	10.5%
無担保ローン	565,856	614,131	626,575	60,719	10.7%	670,400	56,268	9.2%
有担保ローン	27,424	35,399	37,016	9,591	35.0%	43,900	8,500	24.0%
事業者ローン	75,013	89,145	92,712	17,698	23.6%	101,500	12,354	13.9%
クレジット事業	148,006	173,790	179,663	31,656	21.4%	202,800	29,009	16.7%
支払承諾見返	212,175	241,562	252,116	39,940	18.8%	272,200	30,637	12.7%
信用保証事業	211,637	241,172	251,770	40,133	19.0%	271,900	30,727	12.7%
その他	538	389	345	-192	-35.8%	200	-189	-48.7%
営業収益	38,665	163,109	44,629	5,963	15.4%	180,200	17,090	10.5%
営業費用	35,557	142,045	40,857	5,300	14.9%	156,300	14,254	10.0%
営業利益	3,108	21,064	3,771	663	21.3%	23,800	2,735	13.0%
経常利益	3,408	22,067	3,901	492	14.5%	24,000	1,932	8.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,968	21,818	3,722	754	25.4%	21,600	-218	-1.0%

※2025年3月期より株式会社F P C、ビットキャッシュ株式会社を連結の範囲に含めております。
なお、ビットキャッシュ株式会社は2025年3月期1 Qにおいては、貸借対照表のみを連結しております。

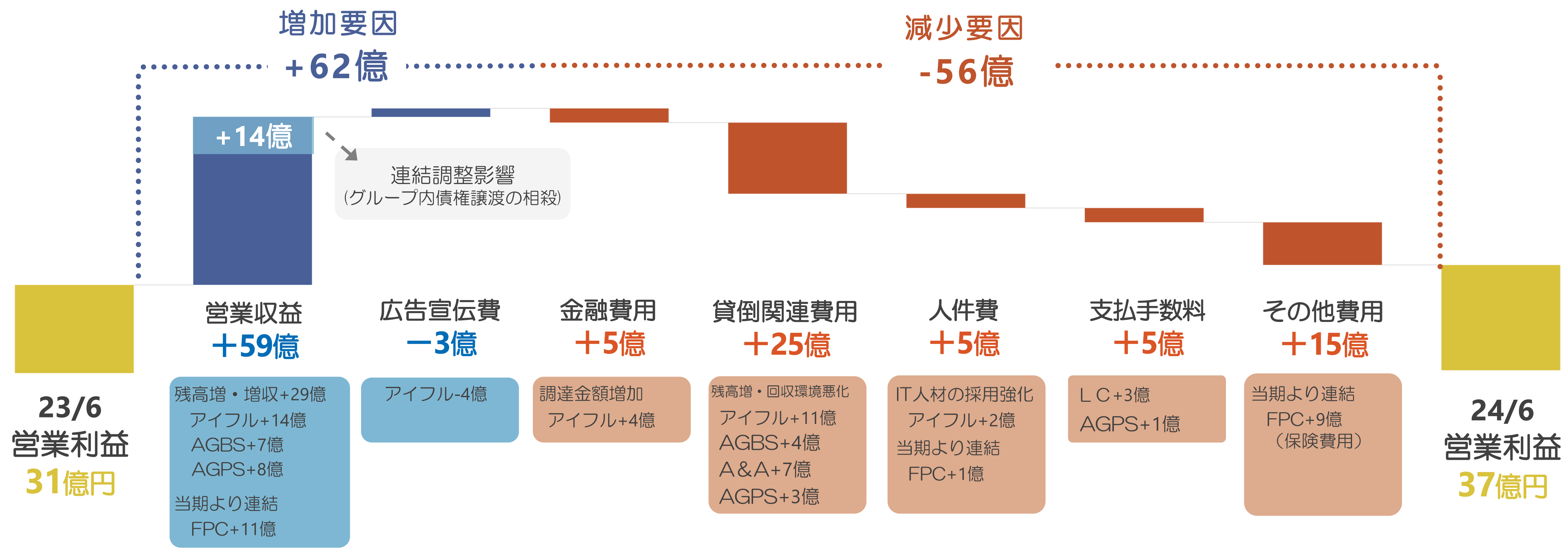
【連結】 決算概要



単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	25/3 (E)	単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	25/3 (E)
営業収益	38,665	163,109	44,629	5,963	15.4%	180,200	営業利益	3,108	21,064	3,771	663	21.3%	23,800
営業貸付金利息	22,584	95,400	25,699	3,115	13.8%	106,700	営業外収益	394	1,041	135	-259	-65.7%	300
信用購入あっせん 収益	6,205	26,290	7,052	847	13.7%	30,500	営業外費用	93	37	5	-88	-94.3%	200
信用保証収益	4,687	19,408	5,095	408	8.7%	21,000	経常利益	3,408	22,067	3,901	492	14.5%	24,000
その他の営業収益	5,189	22,010	6,781	1,592	30.7%	21,700	特別利益	-	79	-	-	-	-
							特別損失	-	653	-	-	-	-
営業費用	35,557	142,045	40,857	5,300	14.9%	156,300	税引前利益	3,408	21,493	3,901	492	14.5%	24,000
金融費用	1,761	7,246	2,259	498	28.3%	9,000	法人税・住民税お よび事業税	57	5,007	410	352	609.9%	5,700
貸倒関連費用	13,198	52,546	15,712	2,513	19.0%	56,000	法人税等調整	292	-5,016	12	-280	-95.8%	-3,100
利息返還関連費用	-	-	-	-	-	-	非支配株主に帰属 する当期純利益	89	-316	-243	-	-	-200
広告宣伝費	4,810	17,788	4,498	-312	-6.5%	18,900	親会社株主に帰属する 当期純利益	2,968	21,818	3,722	754	25.4%	21,600
人件費	4,697	19,095	5,243	546	11.6%	20,900							
その他の費用	11,089	45,368	13,143	2,054	18.5%	51,300							

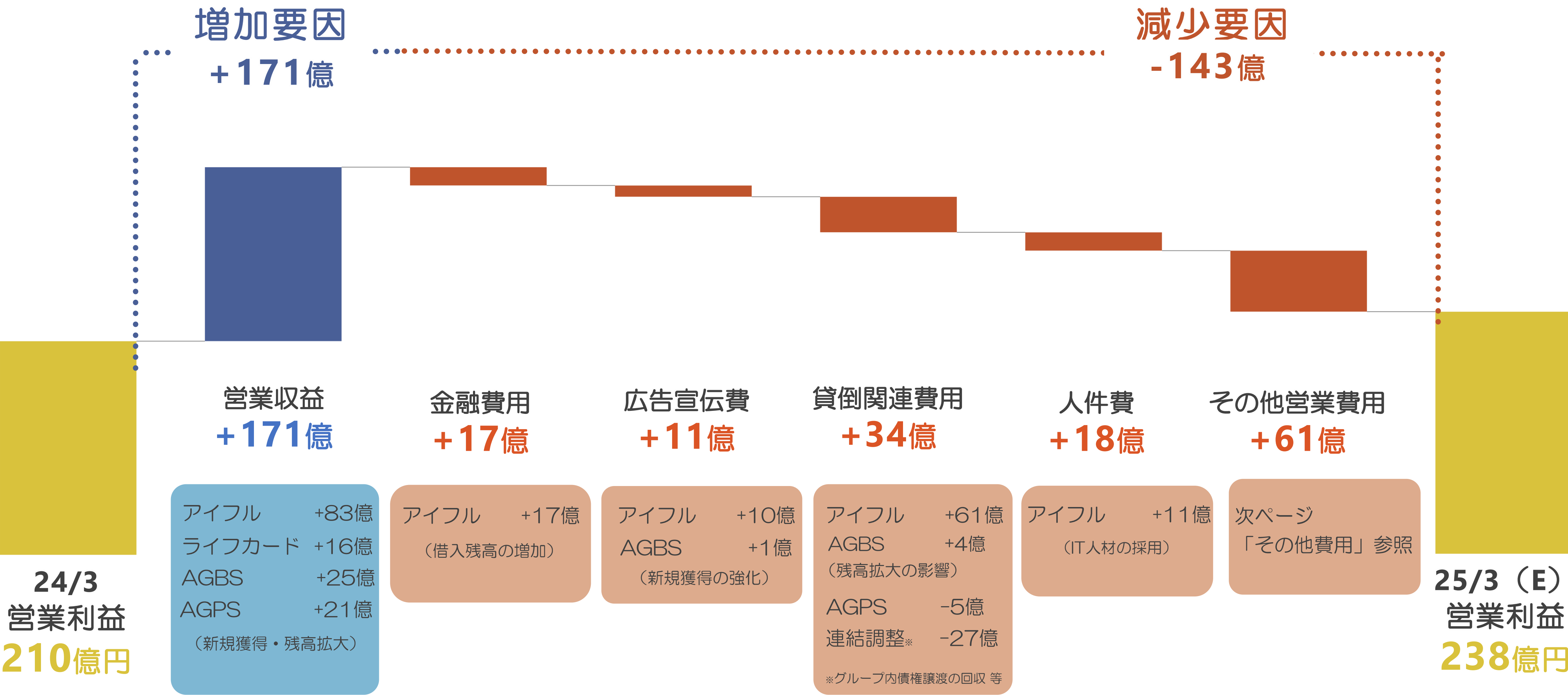
【連結】 営業利益 差異要因 (2025/3期 第1四半期 前年同期比)

【前年同期比】 営業利益の差異要因 (6億円増益)



【連結】 営業利益 差異要因 (2025/3期 通期計画比)

【通期計画比】 営業利益の差異要因 (27億円増益)



*AGBS:AGビジネスサポート、AGPS:AGペイメントサービス

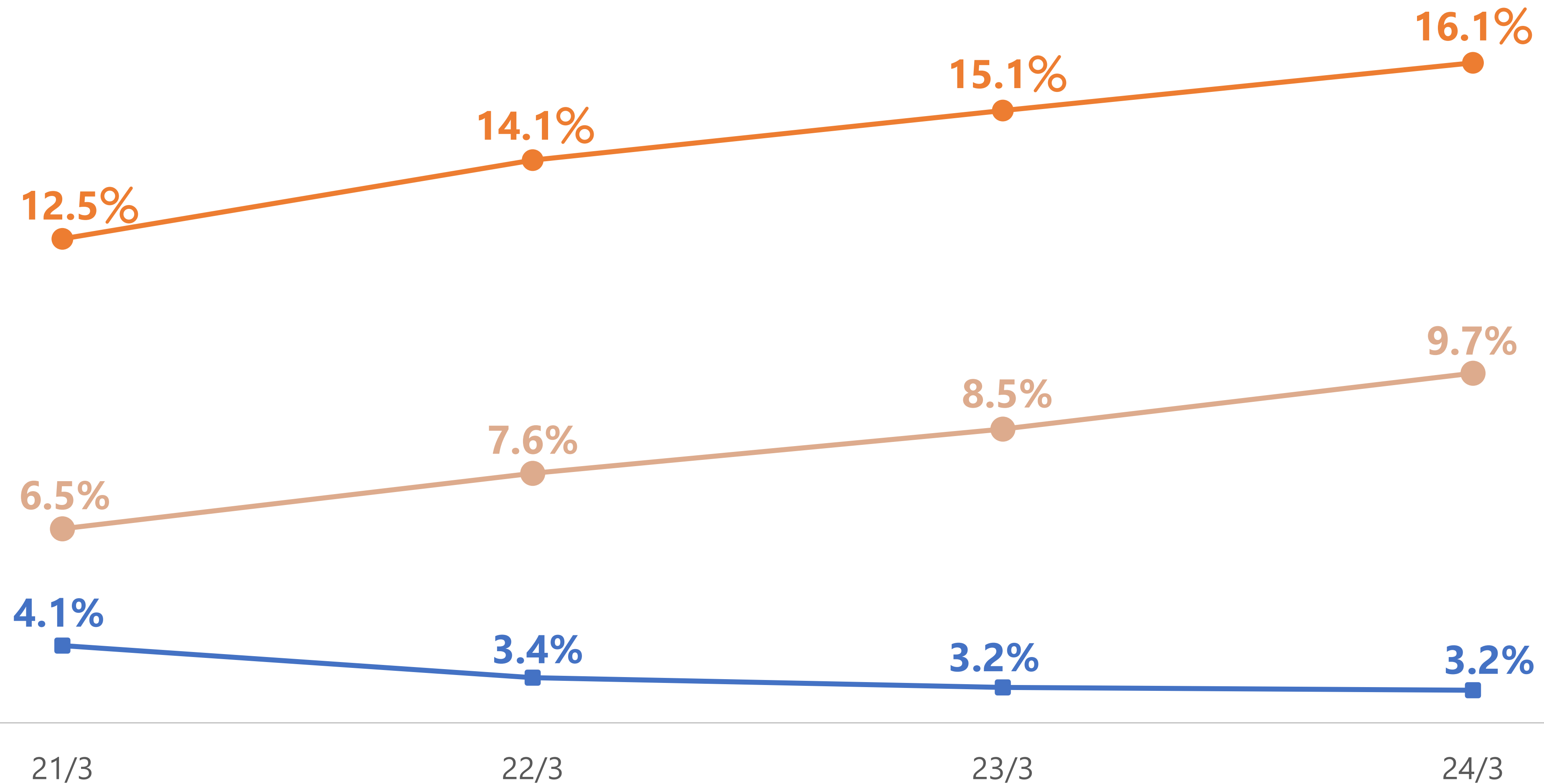
参考：【連結】2025/3期(E) 営業費用の増加要因

単位：億円	24/3	25/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率	差異要因
営業収益	1,631	1,802	171	10.5%	営業債権残高の増加（24/3 1.1兆円 →25/3 1.3兆円（yoy12.2%））
営業費用	1,420	1,563	143	10.1%	以下参照
金融費用	72	90	18	25.0%	① 営業債権残高増加に伴う調達金額の増加 ② 調達金利の上昇（市場金利の上昇影響）
貸倒関連費用	525	560	35	6.7%	営業債権残高の増加
利息返還関連費用	-	-	-	-	
広告宣伝費	177	189	11	6.4%	業容拡大に伴う広告宣伝費の増加（新規獲得推進）
人件費	190	209	18	9.8%	IT人材の獲得推進/ベースアップ
その他営業費用	453	513	61	13.2%	以下参照
売上原価	3	3	0	11.4%	
販売促進費 （提携先へのキャンペーン協賛金、ポイント還元費用等）	39	44	5	13.6%	業容拡大に伴う販売促進費の増加
支払手数料 （各種手数料（CAFIS手数料(ATM提携の手数料)）等）	194	231	36	18.7%	基幹系システム等の更改に関するシステム関連コスト 約15億円
通信費	29	30	0	2.8%	
減価償却費	38	40	1	4.9%	
賃借料・地代家賃	21	23	2	11.1%	アイフル有人支店の移転
その他	126	139	12	10.0%	① 取引増加に伴う消費税の増加 約4億円 ② システム関連の保守増加等 約5億円
営業利益	210	238	27	13.0%	

【アイフル】貸倒関連費用の増加要因

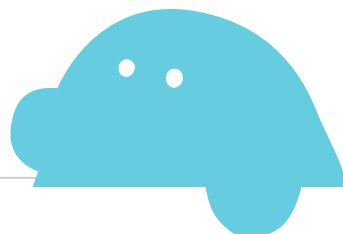
- 取引の浅い債権の占有増加により、貸出条件緩和債権が増えたことで、不良債権比率は上昇し、貸倒関連費用が増加
- その一方で、貸出条件緩和は入金率が90%超と高く、貸倒償却率は低位安定

■貸倒償却率 ●不良債権比率（無担保 ALL） ●不良債権比率（無担保 貸出条件緩和）

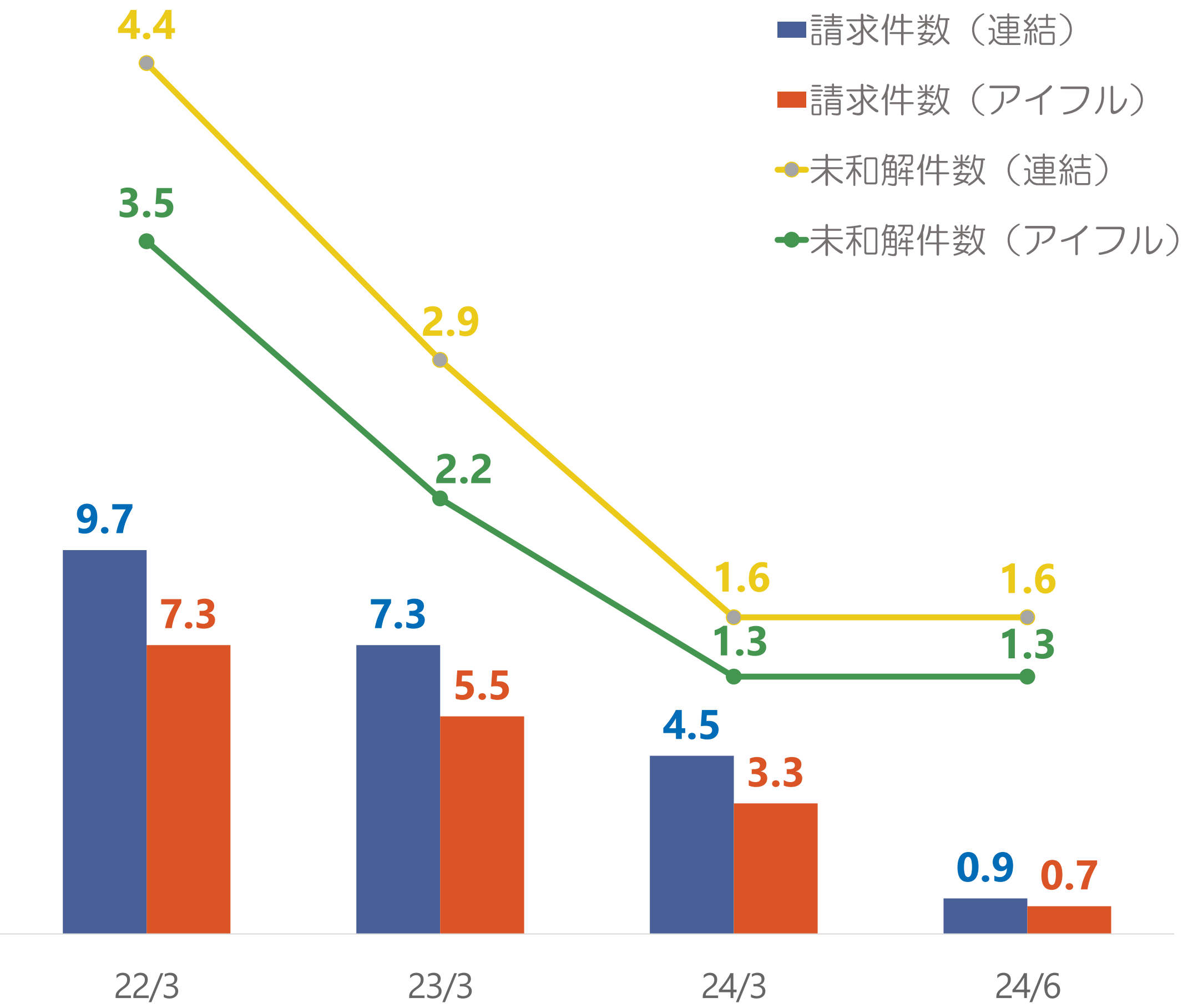


利息返還の推移

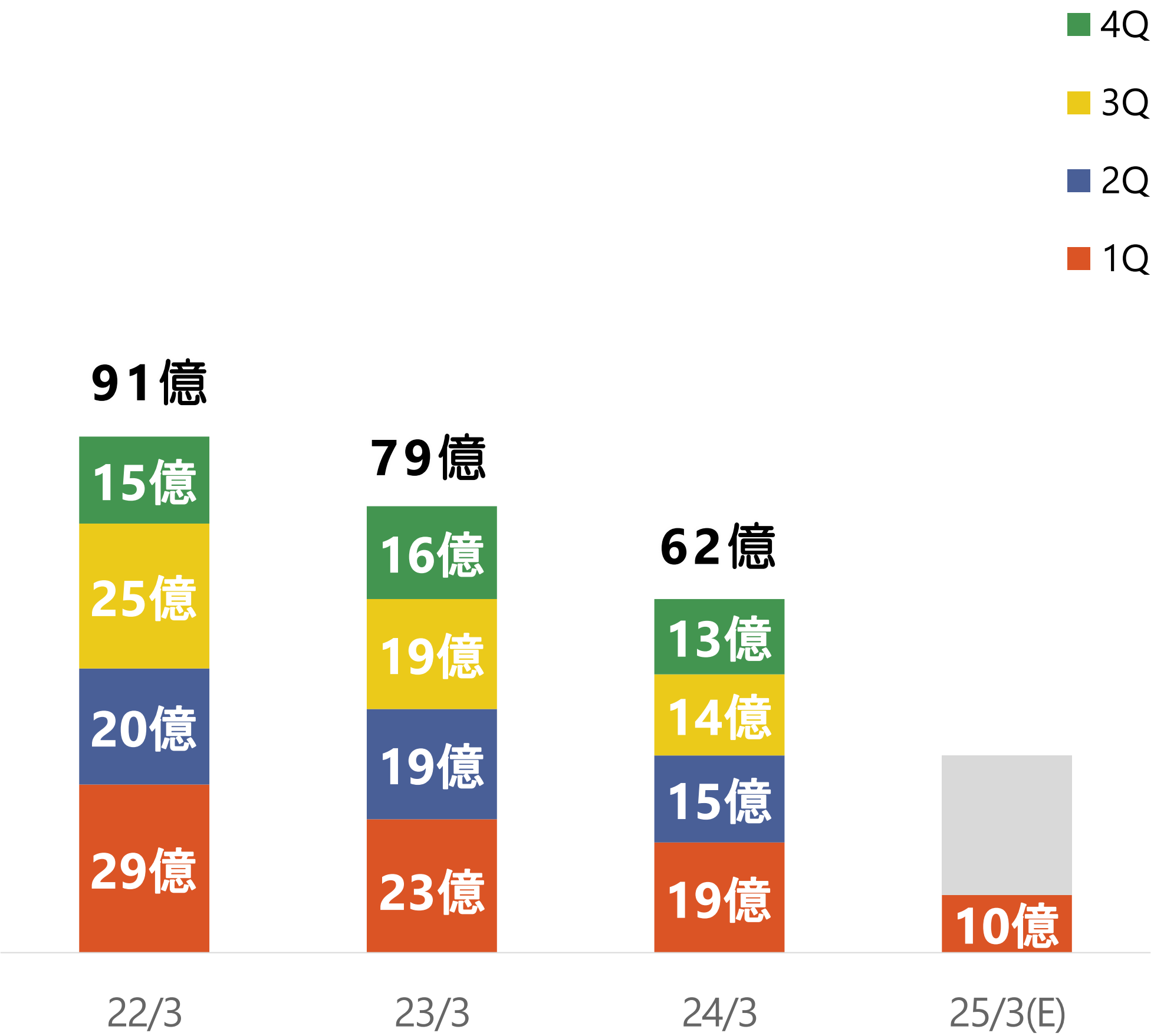
- 利息返還請求の減少とともに、発生額・取崩額も減少



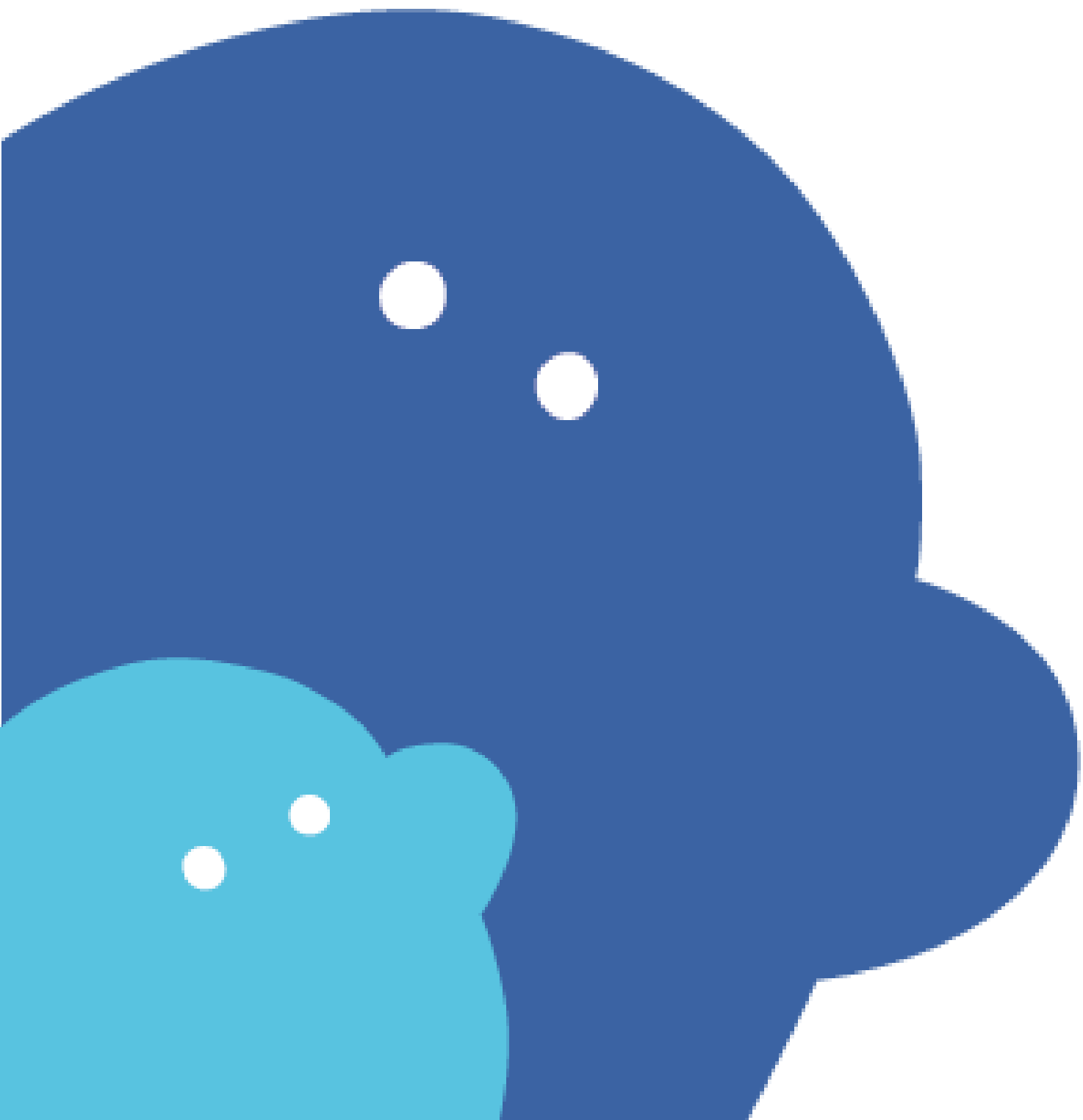
利息返還請求件数（千件）



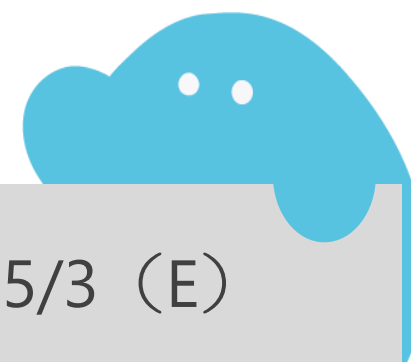
発生額・取崩額（連結）



⑤ アイフル決算概況

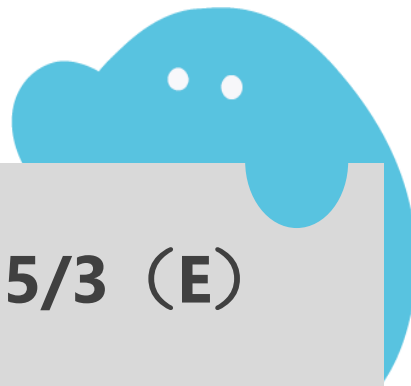


【アイフル】 営業実績



単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	25/3 (E)
営業債権残高	713,414	790,608	814,747	101,332	14.2%	881,300
営業貸付金残高	516,310	562,913	575,882	59,572	11.5%	619,500
無担保ローン	503,277	548,554	561,051	57,774	11.5%	603,300
有担保ローン	2,278	1,836	1,720	-558	-24.5%	1,100
事業者ローン	10,754	12,522	13,111	2,356	21.9%	14,900
信用保証残高	184,530	213,020	223,492	38,962	21.1%	243,600
新規獲得件数 (件)	88,760	338,783	89,347	587	0.7%	-
無担保ローン	88,734	338,657	89,313	579	0.7%	338,000
口座数 (千件)	1,152	1,256	1,282	130	11.3%	-
無担保ローン	1,140	1,243	1,269	129	11.3%	-
貸付量	67,990	275,780	73,194	5,204	7.7%	-
新規顧客	12,757	50,315	13,700	942	7.4%	-
既存顧客	55,232	225,465	59,494	4,261	7.7%	-
営業貸付金利回り	14.5%	14.5%	14.5%	0.0pt	-	14.5%
無担保ローン18%以下残高占有率	99.5%	99.6%	99.7%	0.2pt	-	-
貸倒発生額	8,357	24,696	9,156	799	9.6%	28,800
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	8,227	24,205	9,111	883	10.7%	28,500
貸倒償却率	1.2%	3.1%	1.1%	-0.1pt	-	3.3%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	1.2%	3.1%	1.1%	-0.1pt	-	3.2%

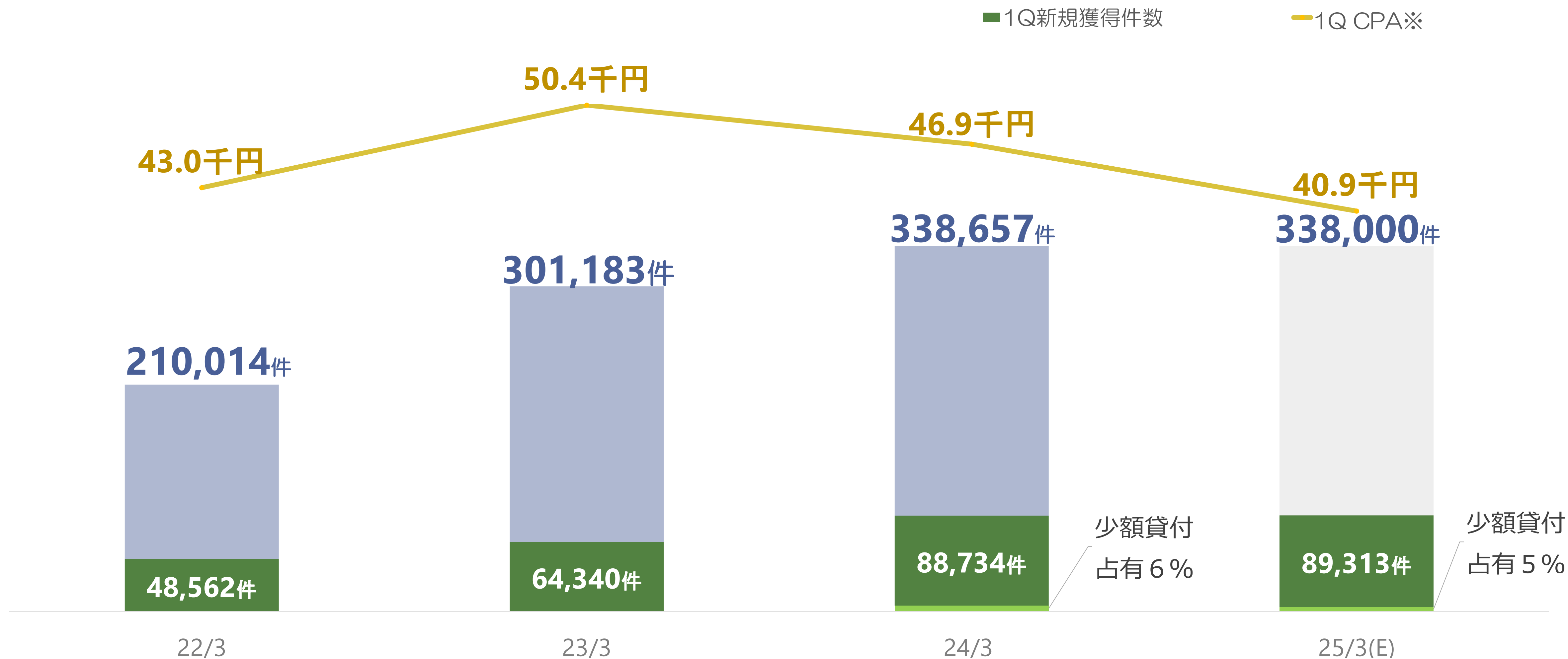
【アイフル】 決算概要



単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	25/3（E）
営業収益	25,025	103,867	26,432	1,407	5.6%	112,200
営業貸付金利息	18,185	76,323	20,519	2,333	12.8%	85,000
信用保証収益	3,419	14,397	3,908	488	14.3%	15,900
その他営業収益	1,991	8,254	2,004	13	0.7%	7,300
債権譲渡益（AG債権回収への債権譲渡）	1,429	4,892	-	-1,429	-	3,700
営業費用	21,614	79,527	23,276	1,661	7.7%	91,800
金融費用	1,319	5,306	1,729	410	31.1%	7,000
貸倒関連費用	9,107	31,172	10,278	1,171	12.9%	37,300
利息返還関連費用	-	-	-	-	-	-
広告宣伝費	4,128	13,937	3,631	-496	-12.0%	14,900
人件費	2,603	10,690	2,887	284	10.9%	11,800
その他費用		18,421	4,736	279	6.3%	20,800
営業利益	3,410	24,339	3,156	-254	-7.5%	20,300
営業外収益	848	2,814	1,182	333	39.3%	3,200
営業外費用	11	6	3	-8	-72.9%	0
経常利益	4,248	27,147	4,335	87	2.1%	23,500
特別利益	-	79	-	-	-	-
特別損失	-	606	-	-	-	-
当期純利益	3,991	24,998	4,036	44	1.1%	22,300

【アイフル】ローン事業/新規獲得とCPAの相関

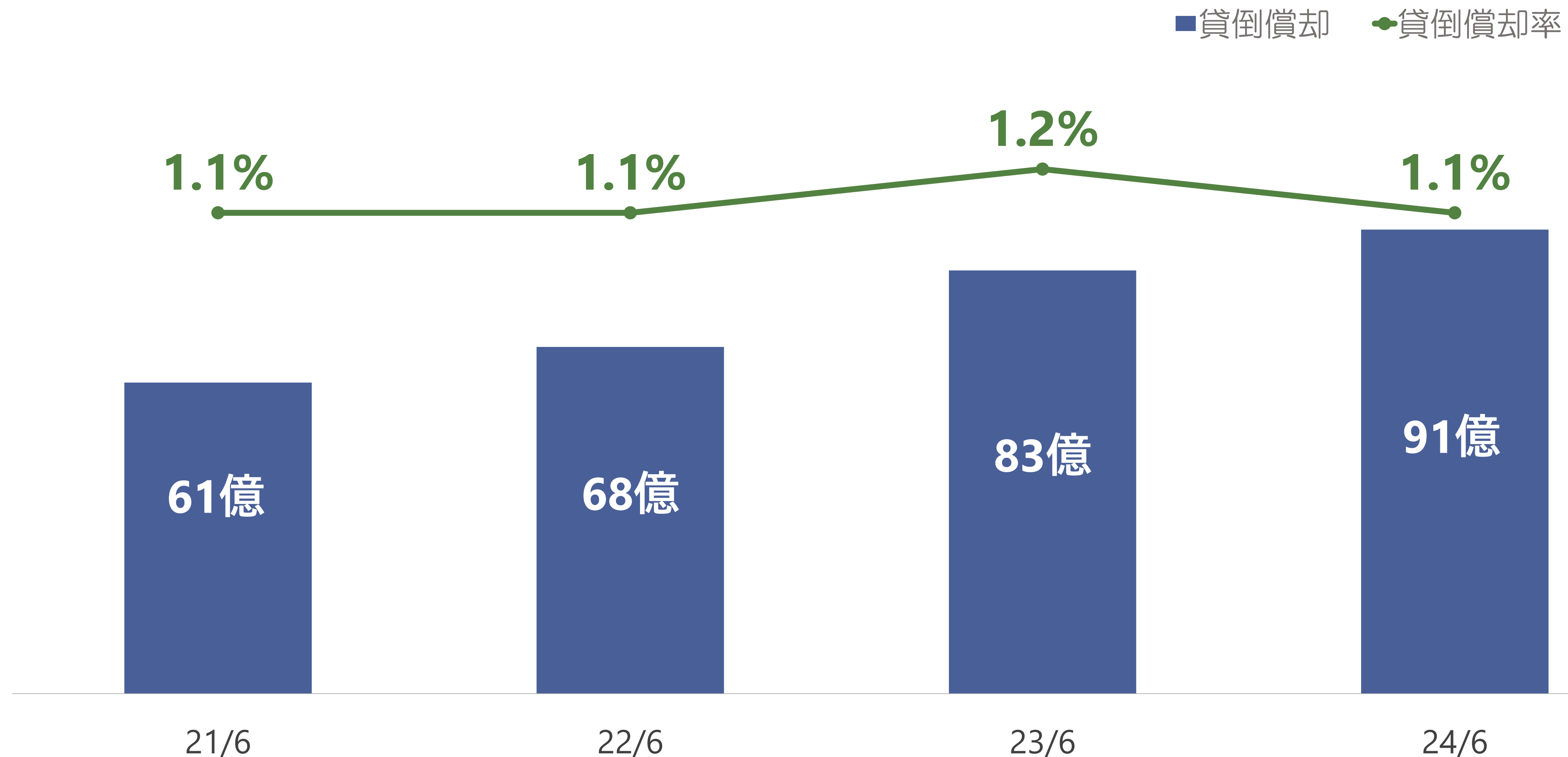
- 広告宣伝費が前年同期比12%減の36億円、新規獲得件数が前年同期比0.7%増の89千件と効率的な新規獲得を実現
- 2022年6月から貸付対象の拡大を見据え、上限貸付枠を3万円までとした少額貸付を開始（新規獲得件数における占有は5%）



※当期より、CPAは発生ベース実績記載

【アイフル】 不良債権/貸倒償却

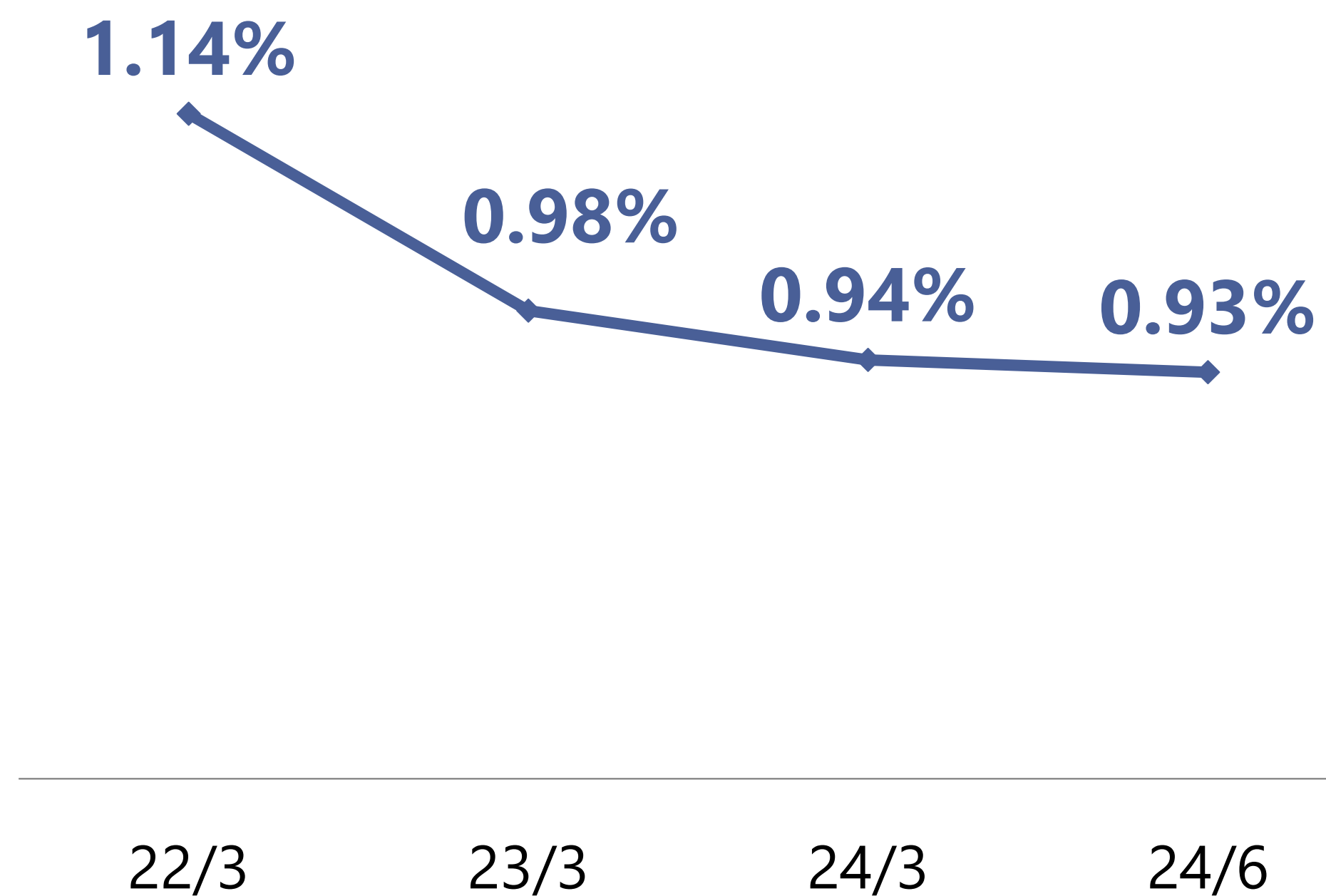
- 貸倒償却は営業債権残高増加に伴い前年同期比9.6%増の91億円となったが、償却率は1.1%と安定



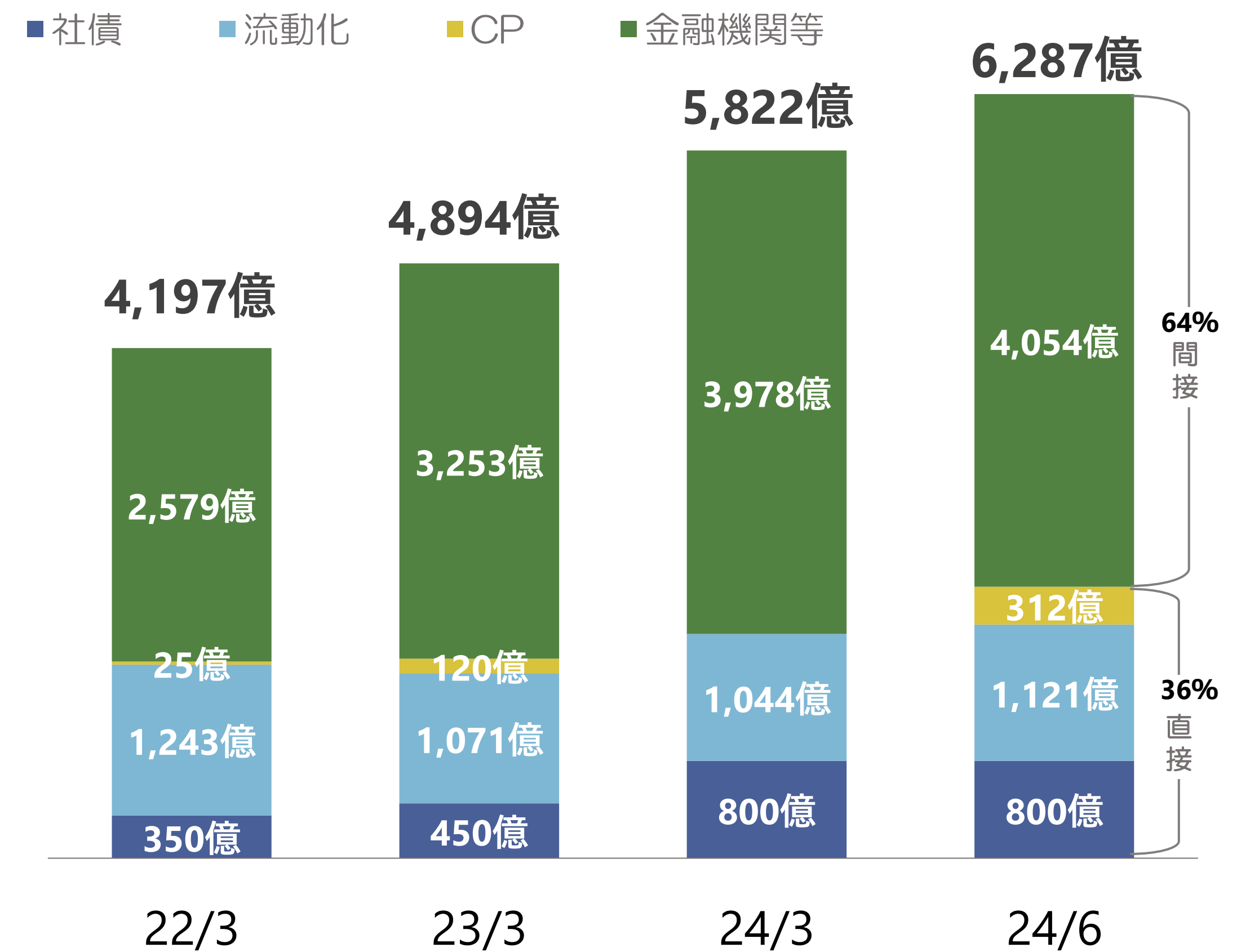
【アイフル】 資金調達

- 調達金利は24/3比で低下するも市場金利は上昇トレンドにあり、2Q以降は上昇を見込む。
- 営業債権残高の拡大に向けて、調達金額は増加も安定した資金確保を実現。

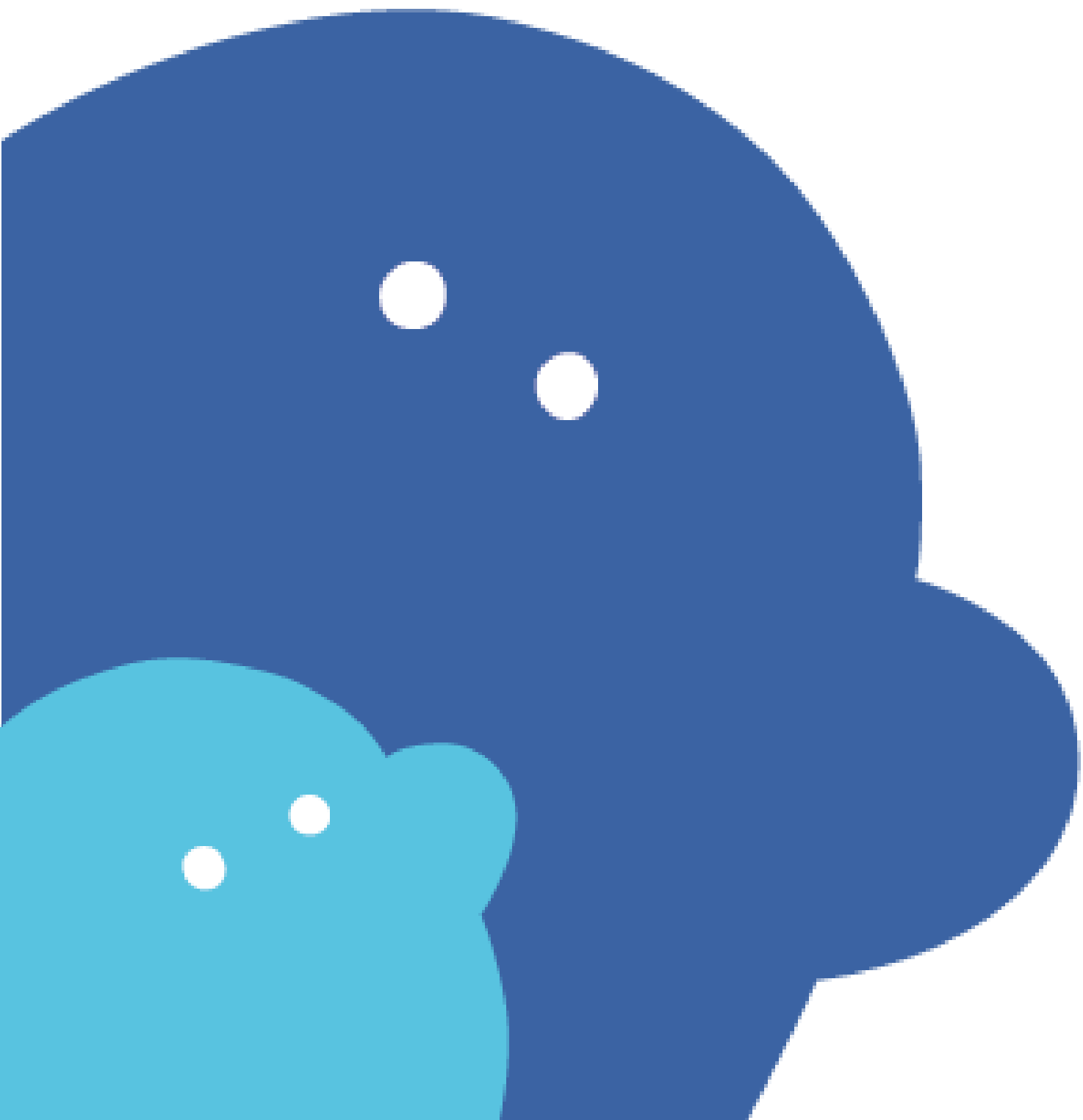
調達金利



調達金額



⑥ グループ各社決算概況



【ライフカード】 決算概要（クレジットカード事業）

単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年 同期比	25/3（E）	前期比
割賦売掛金残高	105,524	111,725	109,941	4.2%	116,100	3.9%
買上実績	188,798	768,736	195,656	3.6%	825,400	7.3%
包括信用購入あっせん	181,334	739,996	188,562	4.0%	795,600	7.5%
キャッシング	7,463	28,740	7,093	-5.0%	29,700	3.3%
新規発行数（千枚）	110	465	117	6.3%	503	8.3%
稼働率	42.7%	42.3%	41.5%	-1.2pt	43.5%	1.2pt
貸倒償却率	0.7%	2.3%	0.8%	0.1pt	2.3%	0.0pt
営業収益	9,327	37,714	9,514	2.0%	39,300	4.2%
営業利益	366	861	184	-49.6%	400	-53.6%
経常利益	385	947	199	-48.1%	400	-57.8%
当期純利益	267	363	429	60.7%	100	-72.5%

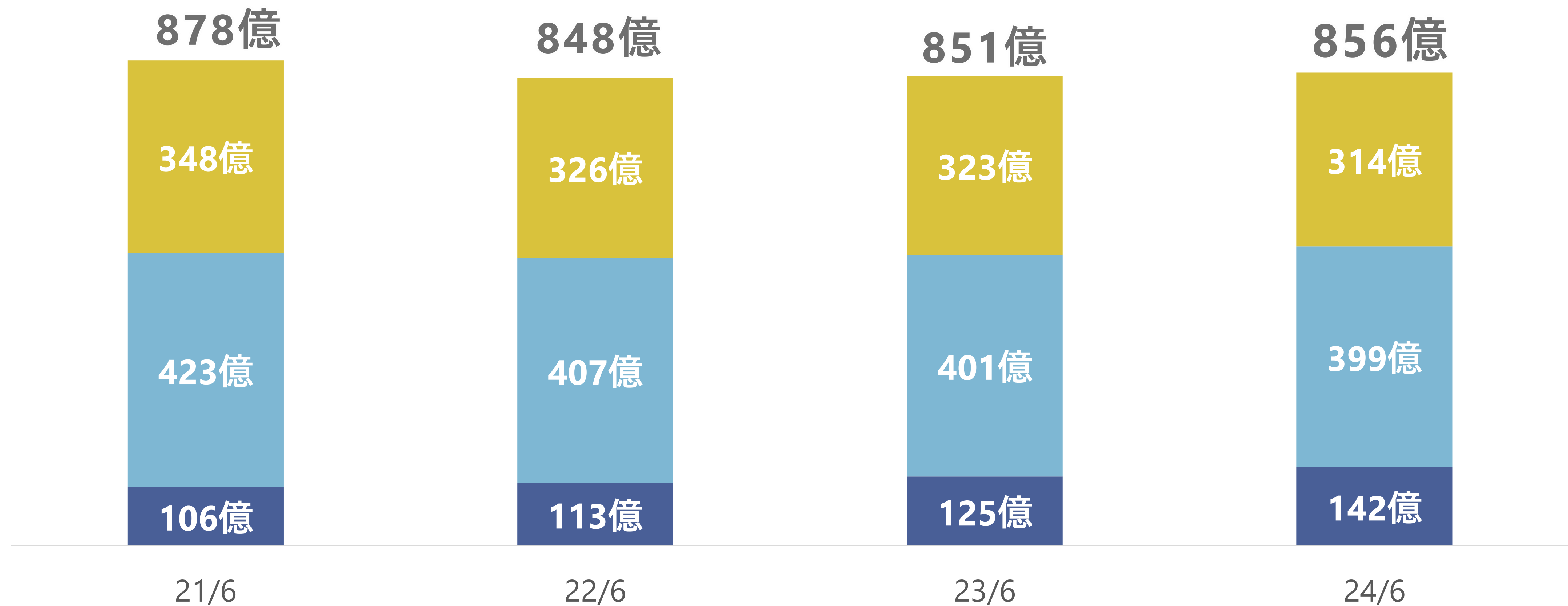
* 営業・損益実績の詳細は、データブックP14参照

【ライフカード】リボ・分割・キャッシング残高推移

- リボ残高は減少幅が縮小、分割残高は順調に拡大しており、前年同期比17億円増加の142億円

残高推移（営業債権ベース）

■ 分割 ■ リボ ■ キャッシング



【ライフカード】プロパーカードのLTV向上

- LTV向上施策によって、稼働会員ベースの直近実績で試算する **将来LTVは目標の70千円に到達**
- 更なる施策にて利益水準の向上を図るとともに、積極的なプロモーションにて新規稼働会員の獲得を強化していく

将来 LTV

稼働会員ベース



70,000円

【参考】過去LTV実績（有効会員ベース）

2023/3 25,000円（過去実績にて算出）

将来試算 40,000円（直近実績にて算出）

実施施策

- ・ 請求資料有料化
- ・ ETCカード普通郵便化
- ・ ポイントプログラム改定
- ・ リボ・分割手数料引き上げ
- ・ マークアップ手数料見直し
- ・ 分割支払回数の延長

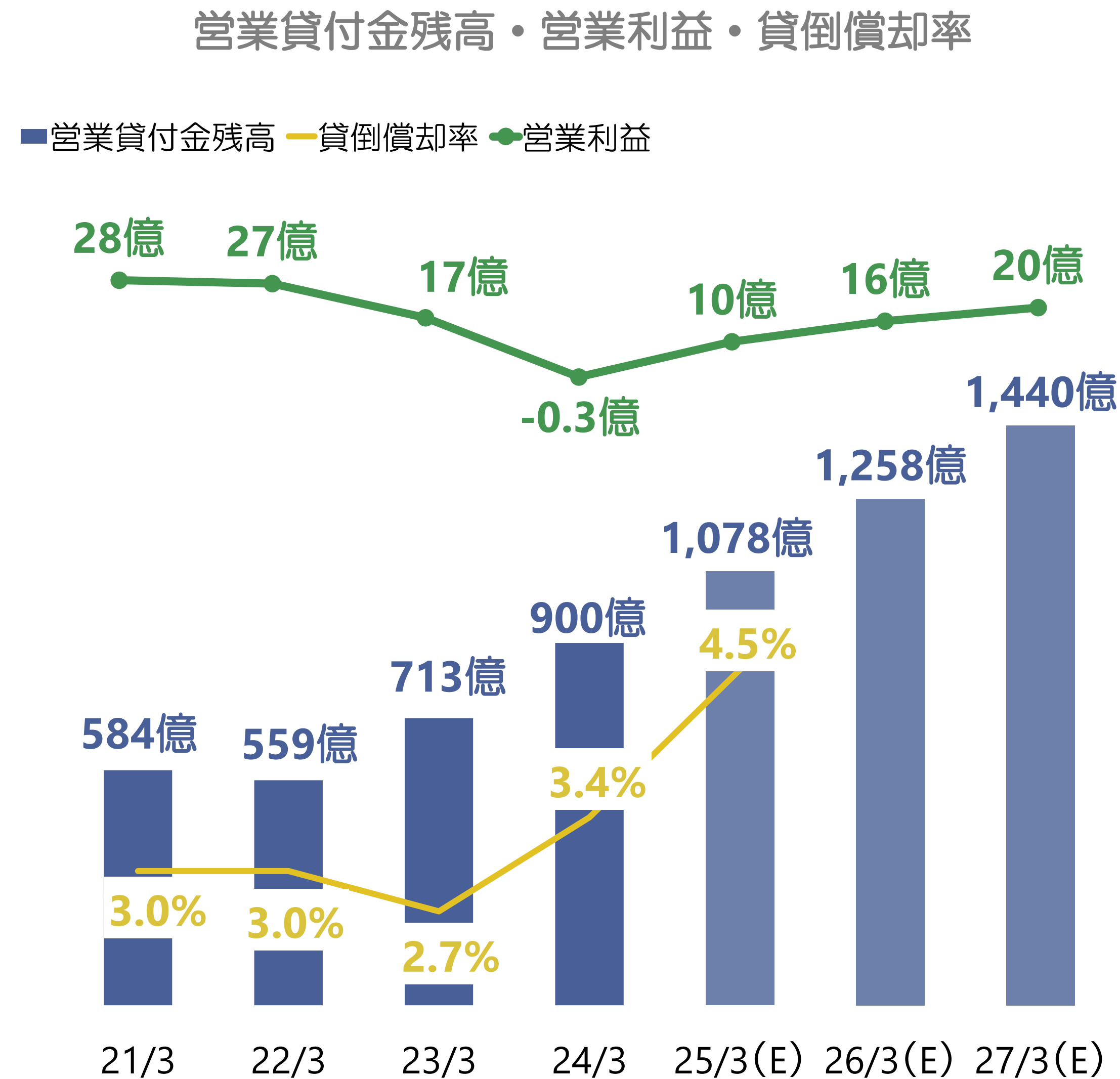
AGビジネスサポート（事業性金融事業（有担保・事業性ローン））

- 好調な新規獲得を背景に営業貸付金残高および営業収益は前年同期比で2桁増。
- 当期は営業利益25百万円となるも、年度中の貸倒引当金の基準適正化・回収施策などの実施により、計画どおりの着地を見込む

単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年 同期比	25/3 (E)	前期比
営業貸付金残高	74,334	90,019	94,059	26.5%	107,800	19.8%
新規獲得件数	2,223	10,010	2,663	19.8%	11,200	11.9%
口座数（千）	30	34	35	17.6%	40※1	16.4%※1
貸倒償却率（%）	1.7	3.4	1.7	0.0pt	4.5	1.1pt
営業収益	2,268	10,310	3,000	32.2%	12,800	24.1%
営業利益	18	-38	25	36.0%	1,000	-
経常利益	19	-41	30	52.2%	1,000	-
当期純利益	-54	-307	-58	—	400	-

※1 数値に誤りがあったため、修正しております。

※ 診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継

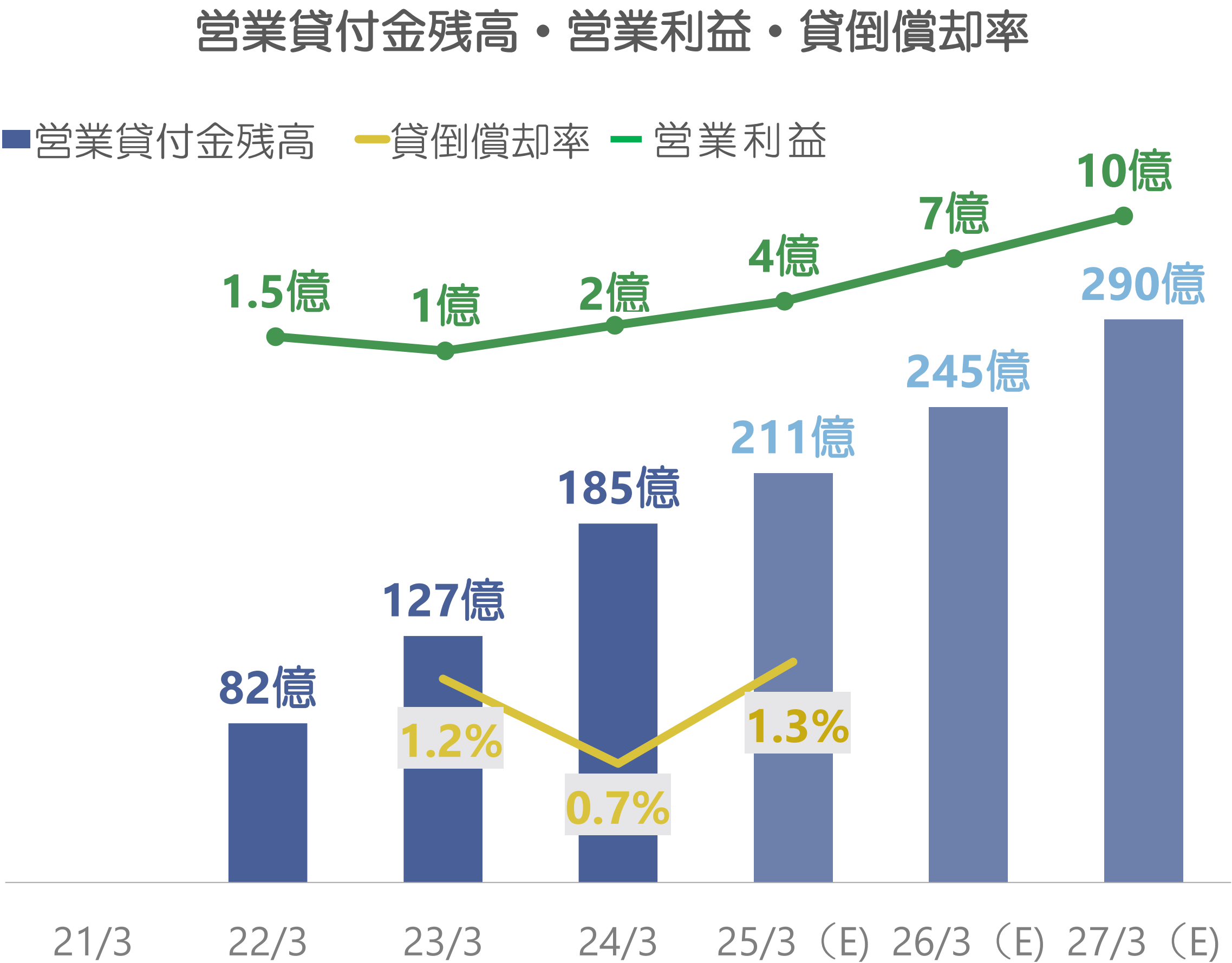


AGメディカル（事業性金融事業（診療報酬等担保ローン））

- 堅調な新規獲得を背景に営業貸付金残高および営業収益は前年同期比大幅プラス。
- 貸倒関連費用の増加を主要因として営業利益は前年同期比5%減、回収施策の実施にて通期計画の達成を目指す。

診療報酬等担保ローン
医療を営むお客様向けの国民健康保険団体連合会（国保）や社会保険診療報酬支払基金（社保）の支払機関に対して有する債権を担保とした融資

単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年 同期比	25/3 (E)	前期比
営業貸付金残高 (有担保ローン)	13,771	18,524	19,102	38.7%	21,100	13.9%
新規獲得件数（件） (有担保ローン)	75	387	89	18.7%	390	0.7%
口座数（件）	727	971	1,029	41.5%	1,100	13.3%
貸倒償却率	0.2	0.7	0.5	0.3pt	1.3	0.6pt
営業収益	295	1,358	418	41.9%	1,700	25.2%
営業利益	73	235	70	-4.7%	400	69.5%
経常利益	73	234	70	-4.7%	400	70.6%
当期純利益	49	150	12	-75.1%	300	99.0%

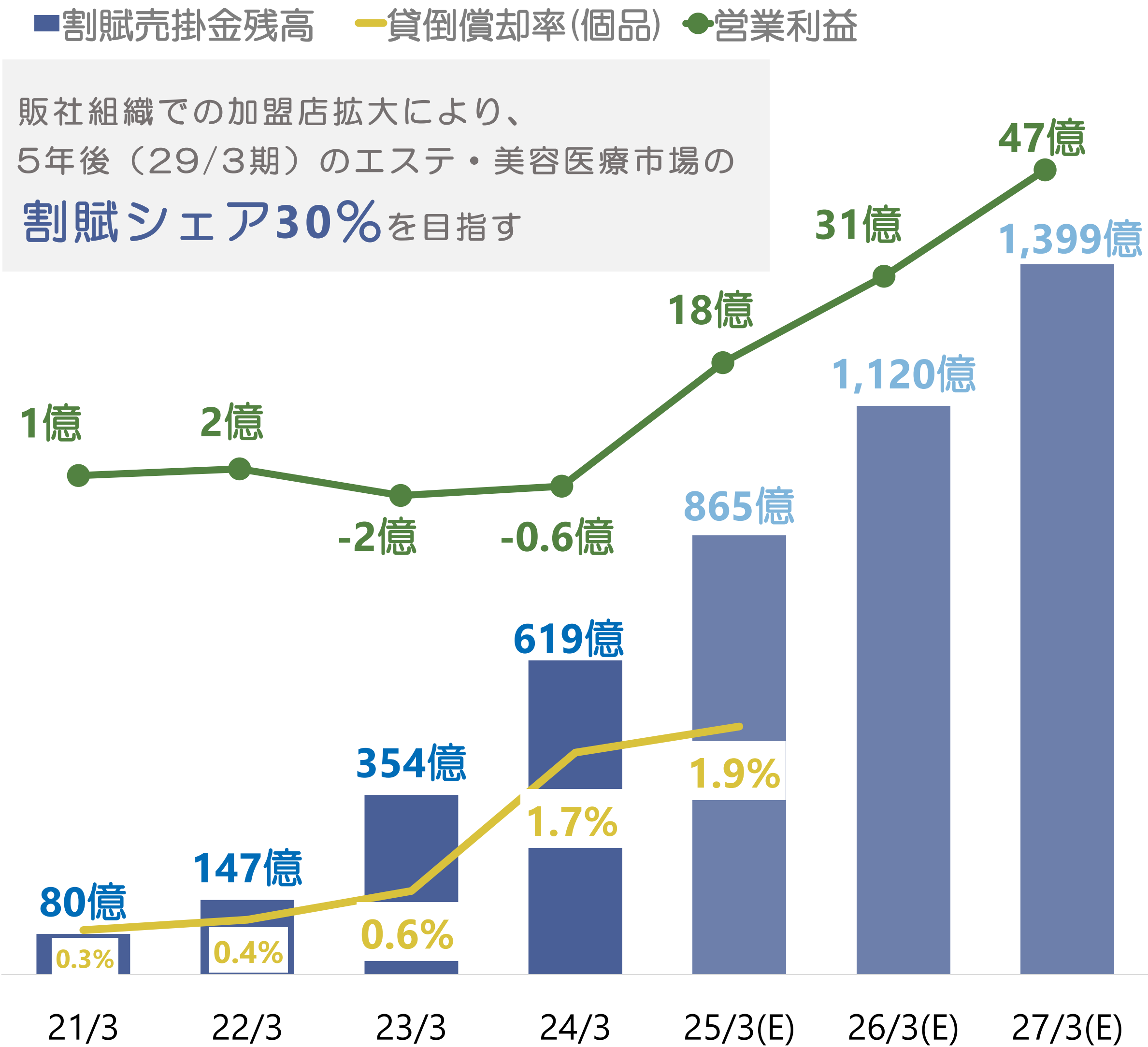


※ AGビジネスサポートより、診療報酬等担保ローン事業を2021年7月に承継

AGペイメントサービス（個別信用購入あっせん事業／後払い事業）

- エステ・美容医療の個別信用購入あっせんの加盟店開拓・残高伸長に注力
- 割賦売掛金残高の増加により増収・増益

単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年 同期比	25/3 (E)	前期比
割賦売掛金残高 (個別信用購入あっせん)	42,304	61,902	69,565	64.4%	86,500	39.7%
買上 (後払い決済)	3,387	12,898	2,803	-17.3%	4,900	-62.0%
貸倒償却率(%) (個別信用購入あっせん)	0.5	1.7	0.5	0.0pt	1.9	0.2pt
営業収益	1,236	5,435	1,790	44.8%	7,600	42.8%
営業利益	251	-67	277	10.5%	1,800	-
経常利益	251	-63	277	10.5%	1,800	-
当期純利益	144	-833	175	21.6%	1,200	-



2024年1月にAGギャランティーとAGミライバライが合併、AGペイメントサービスに名称変更
過去実績は、合併ベースで表記

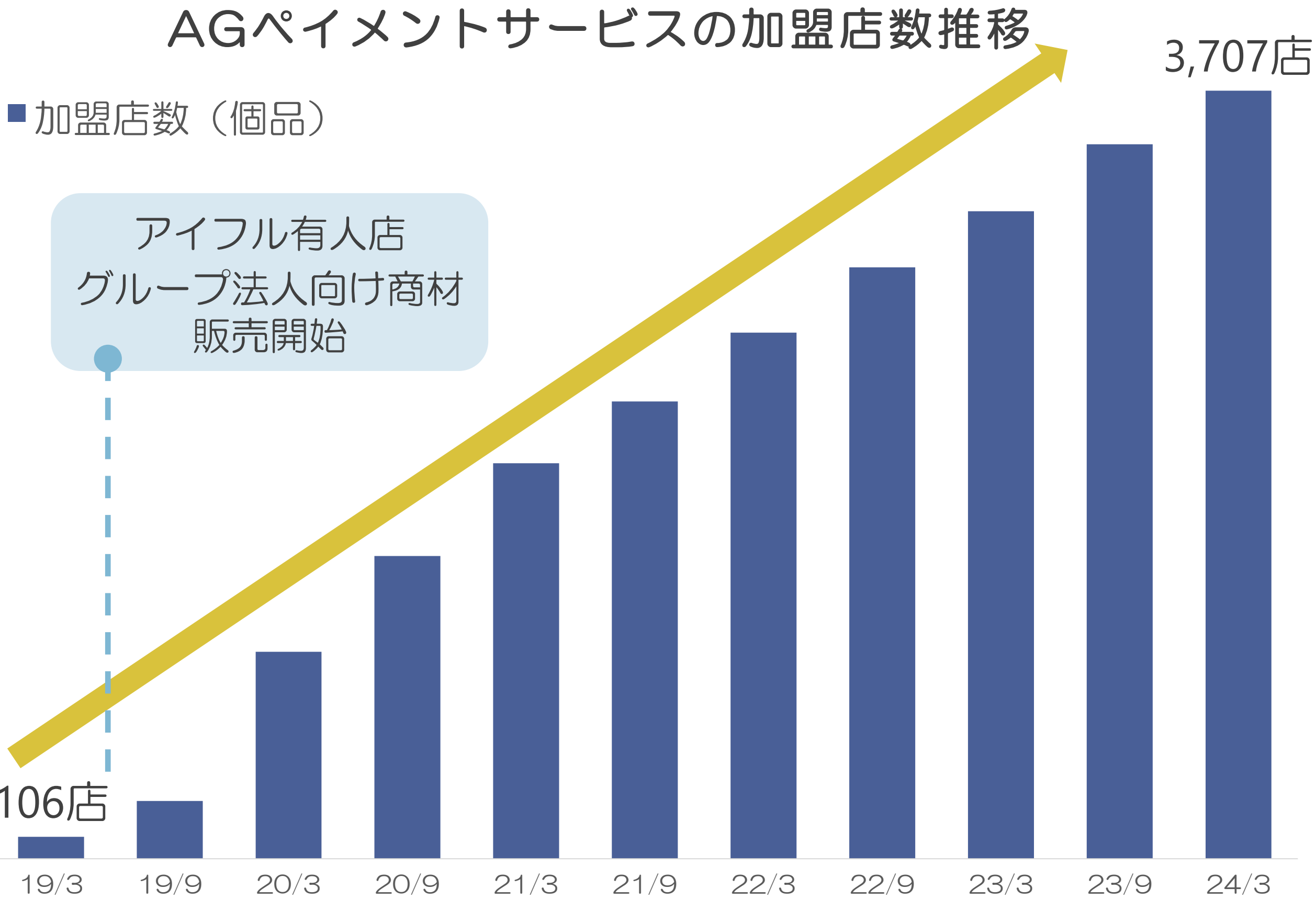
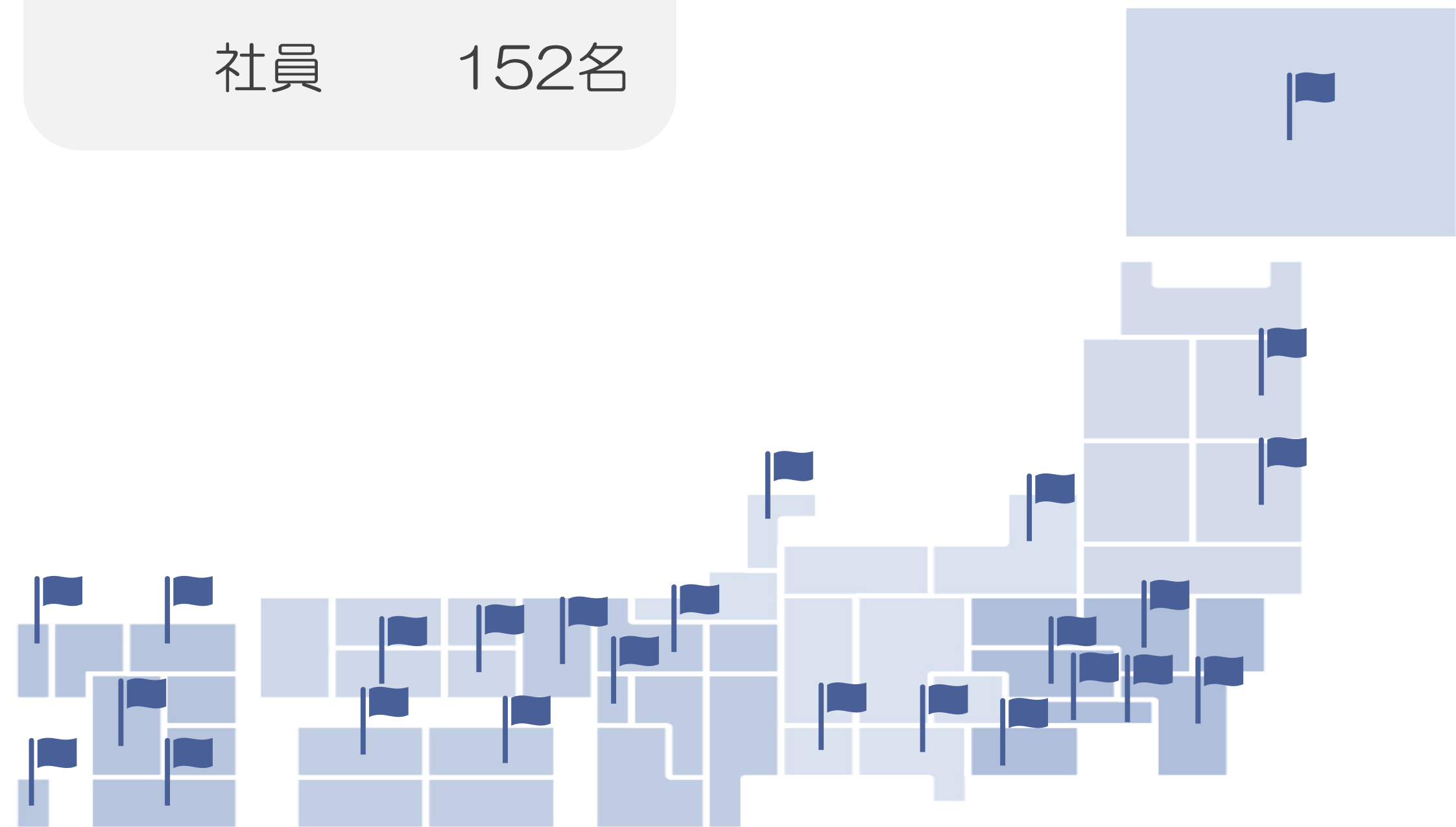
AGペイメントサービス 法人営業 × 加盟店数

- 2019年4月～ アイフルの有人店は法人営業組織として、グループの法人向け商材の販売開始
- グループ商材※を柔軟かつスピーディーに販売、更なる営業拡大を目指している

※AGペイメントサービスの加盟店営業やライフカードの法人カード営業 等

2024年6月末現在

有人店	25支店
社員	152名



AIRA&AIFUL（タイ王国で消費者金融事業）

- コロナ影響・経済環境悪化に伴う回収環境の悪化による貸倒関連費用の増加のため、当年度の営業利益は▲4億を見込む
- 与信厳格化や回収強化などの施策を行い、立て直しを図る

単位：百万円	23/6	24/3	24/6	前年 同期比	25/3 (E)	前期比
営業貸付金残高	31,404	35,547	35,795	14.0%	36,000	1.3%
新規顧客件数	11,439	43,508	9,545	-16.6%	42,000	-3.5%
口座数（千）	363	304	305	-16.1%	280	-8.0%
貸倒償却率	1.5%	6.8%	2.7%	1.2pt	14.0%	7.2pt
営業収益	1,908	8,269	1,977	3.7%	8,500	2.8%
営業利益	116	-1,383	-628	-	-400	-
経常利益	116	-1,368	-627	-	-400	-
当期純利益	97	-1,087	-529	-	-500	-

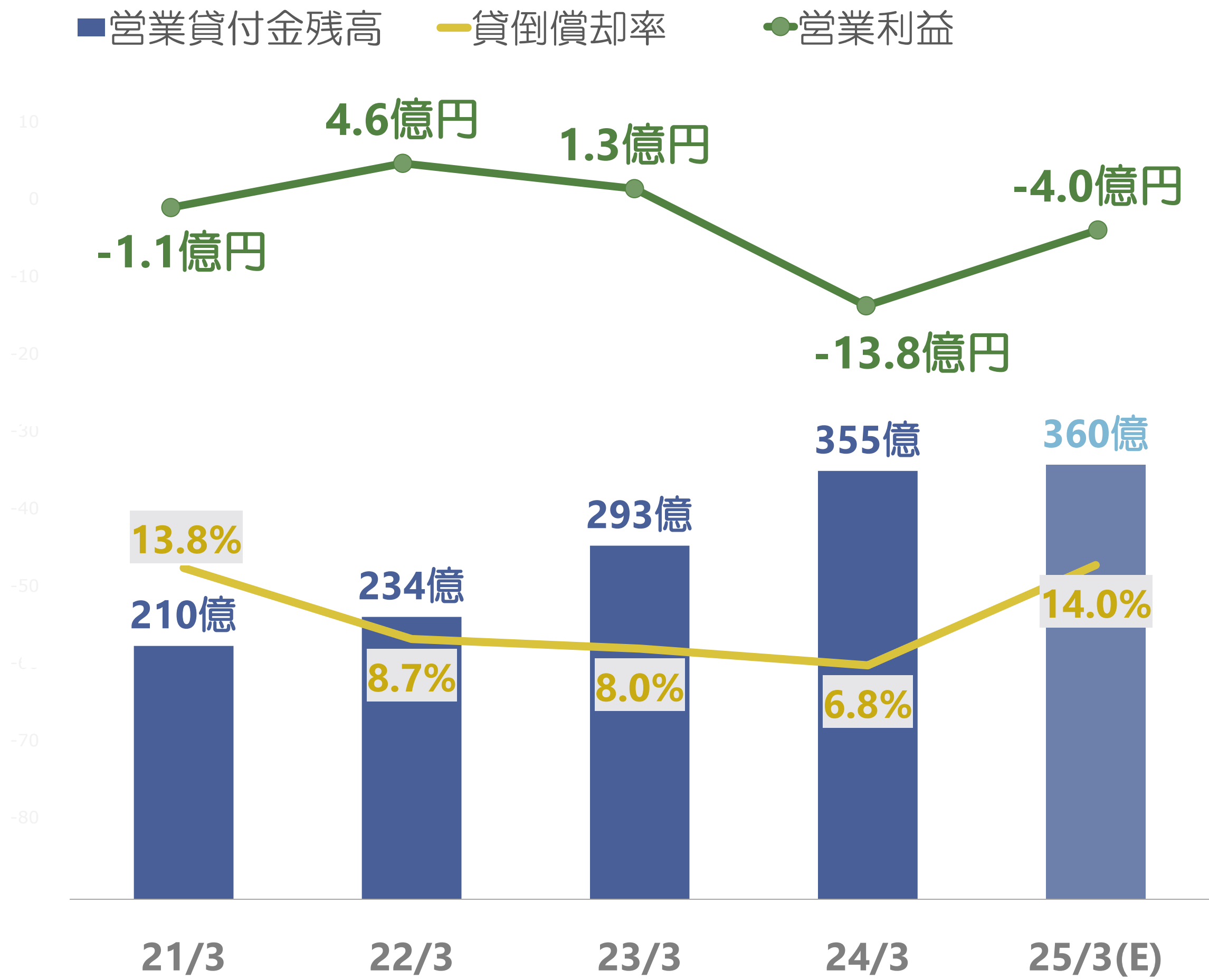
※A&Aは12月期決算のため、通期累計期間は1月～12月の実績

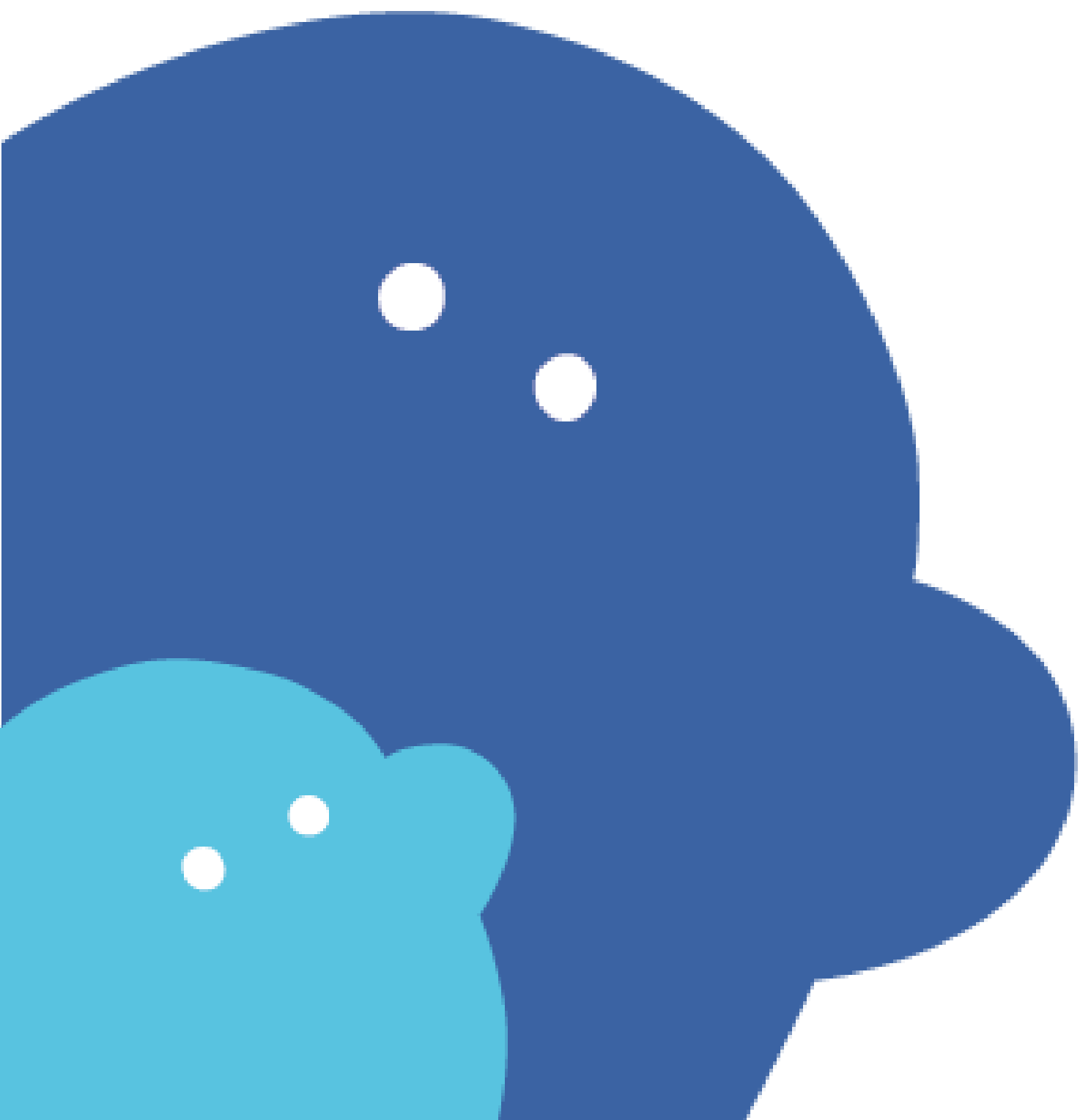
※為替レート（タイバーツ）

B/S:23/6 3.91円、24/3 4.13円、24/6 4.16円、25/3（E） 3.81円

P/L:23/6 3.91円、24/3 4.04円、24/6 4.13円、25/3（E） 4.13円

営業貸付金残高・営業利益・貸倒償却率





7 參考資料

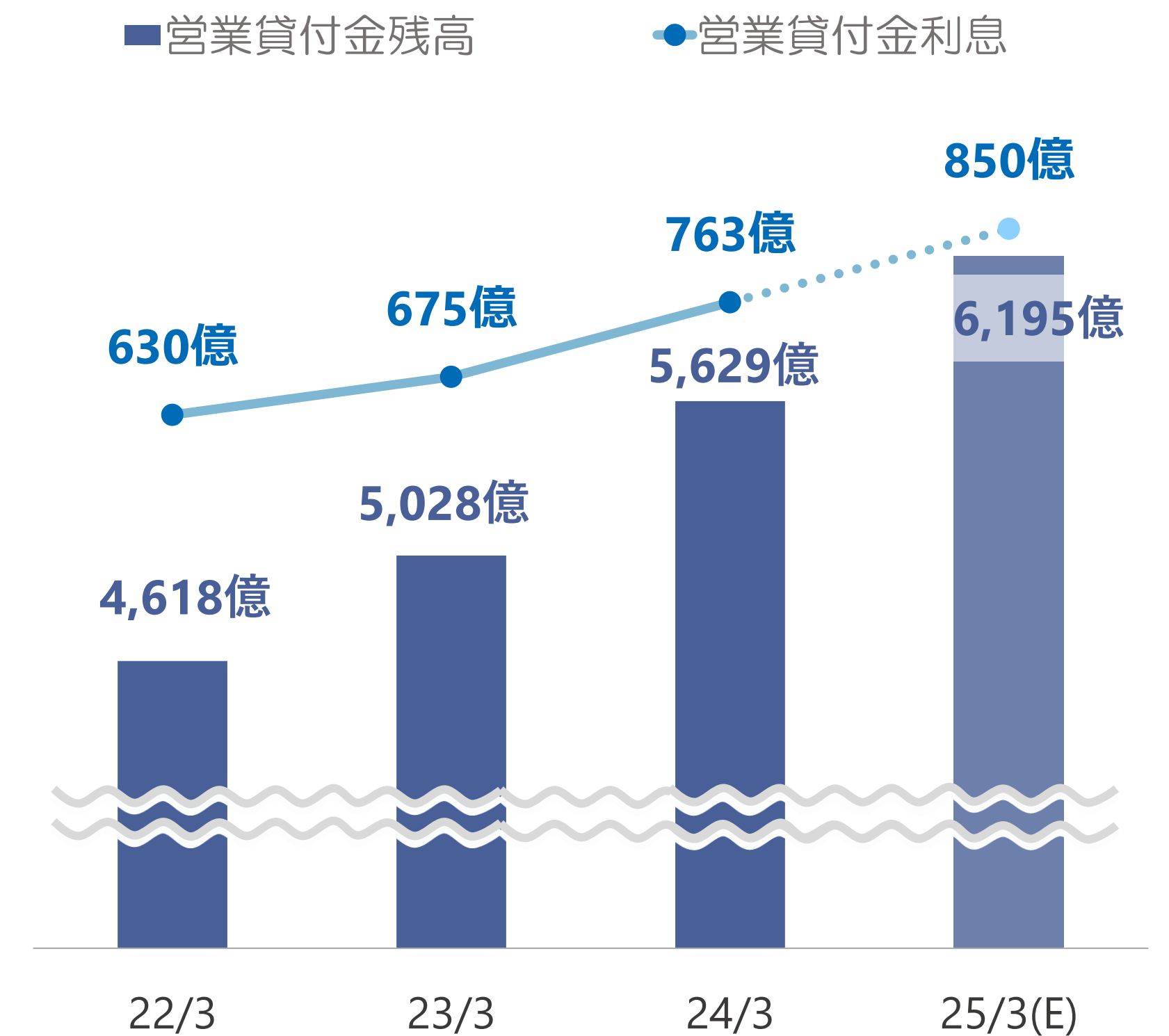
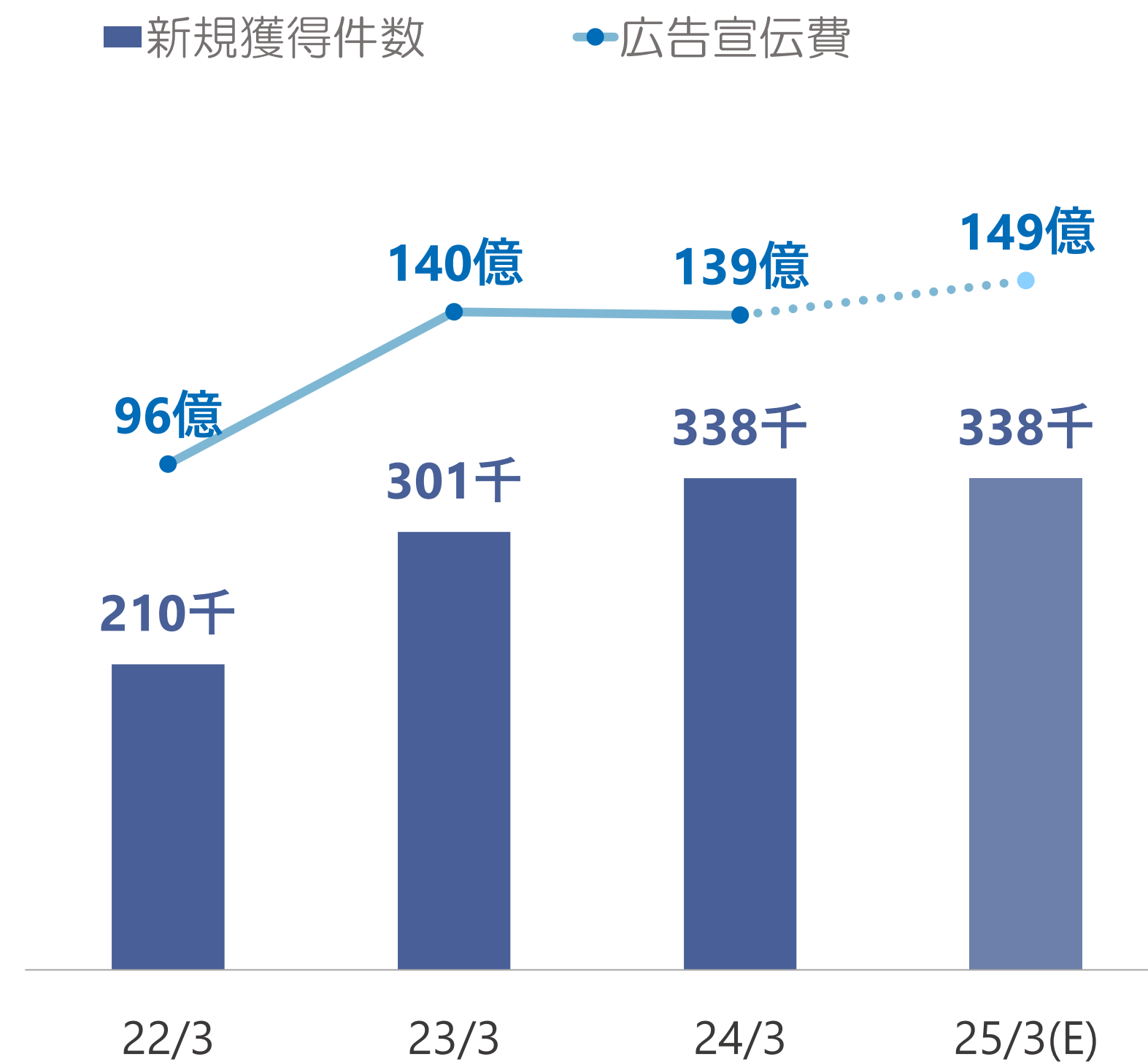
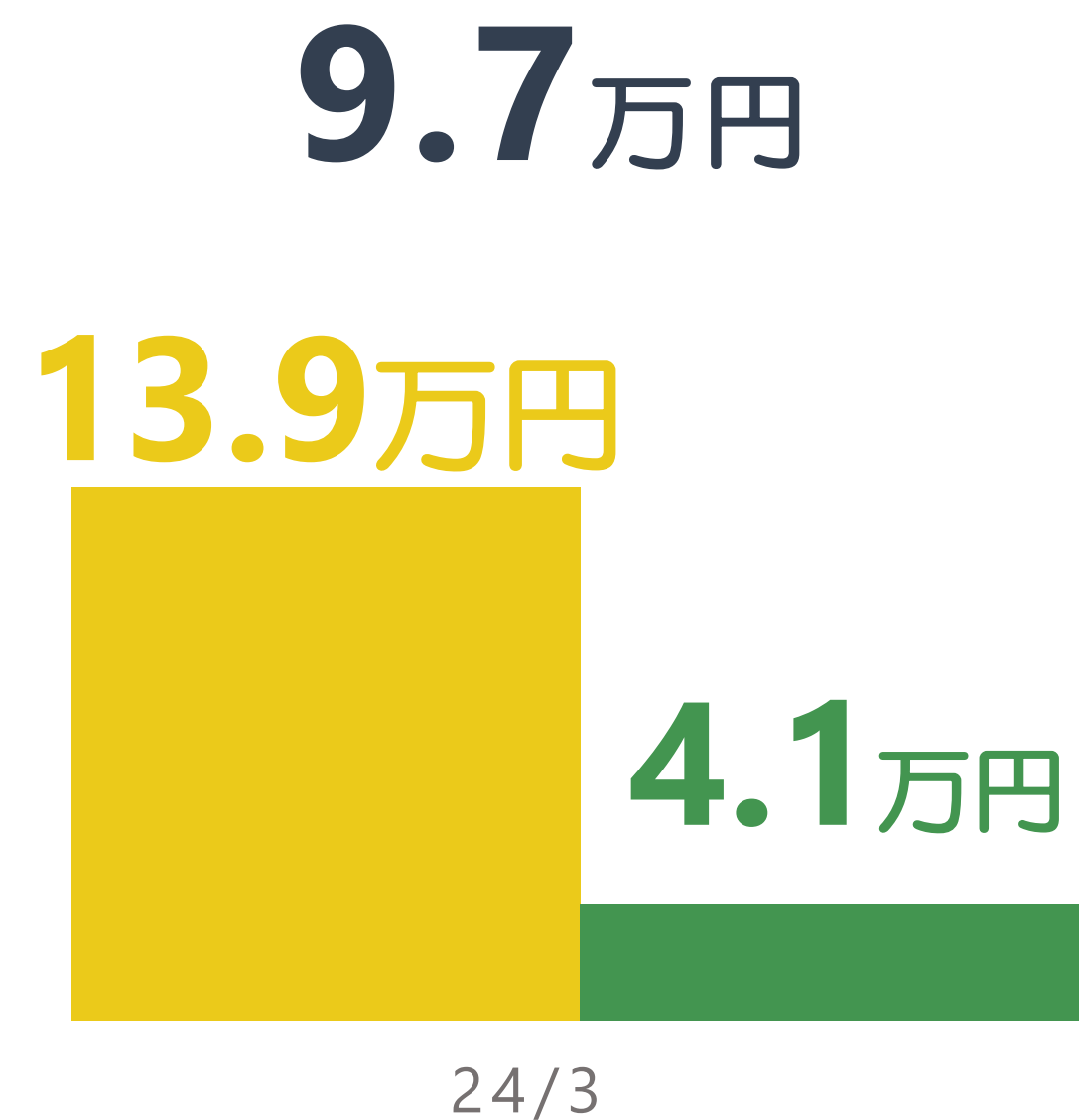
【アイフル】 LTV/CPA

- 獲得効率を維持しながら、広告宣伝費を増加
- 結果、新規獲得は大幅に増加し、営業貸付金残高も順調に拡大。将来利益を確保できている

LTV 顧客生涯利益（広告宣伝費を除いて算出した顧客の生涯利益）

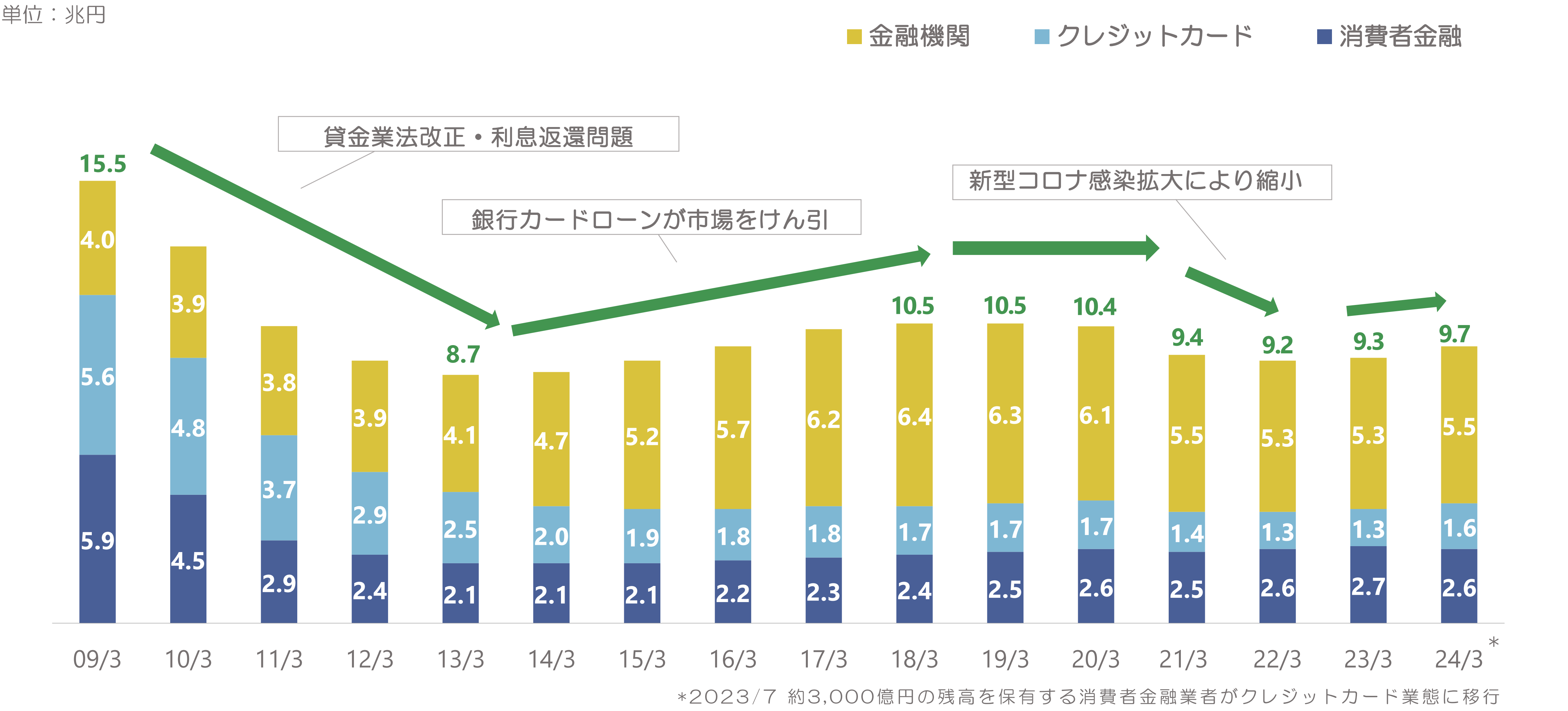
CPA※ 1 顧客当たりの獲得単価（新規顧客 1 人当たりの広告宣伝費）

CPA控除後のLTV



※当期より、CPAは発生ベースの実績を記載

無担保ローン市場



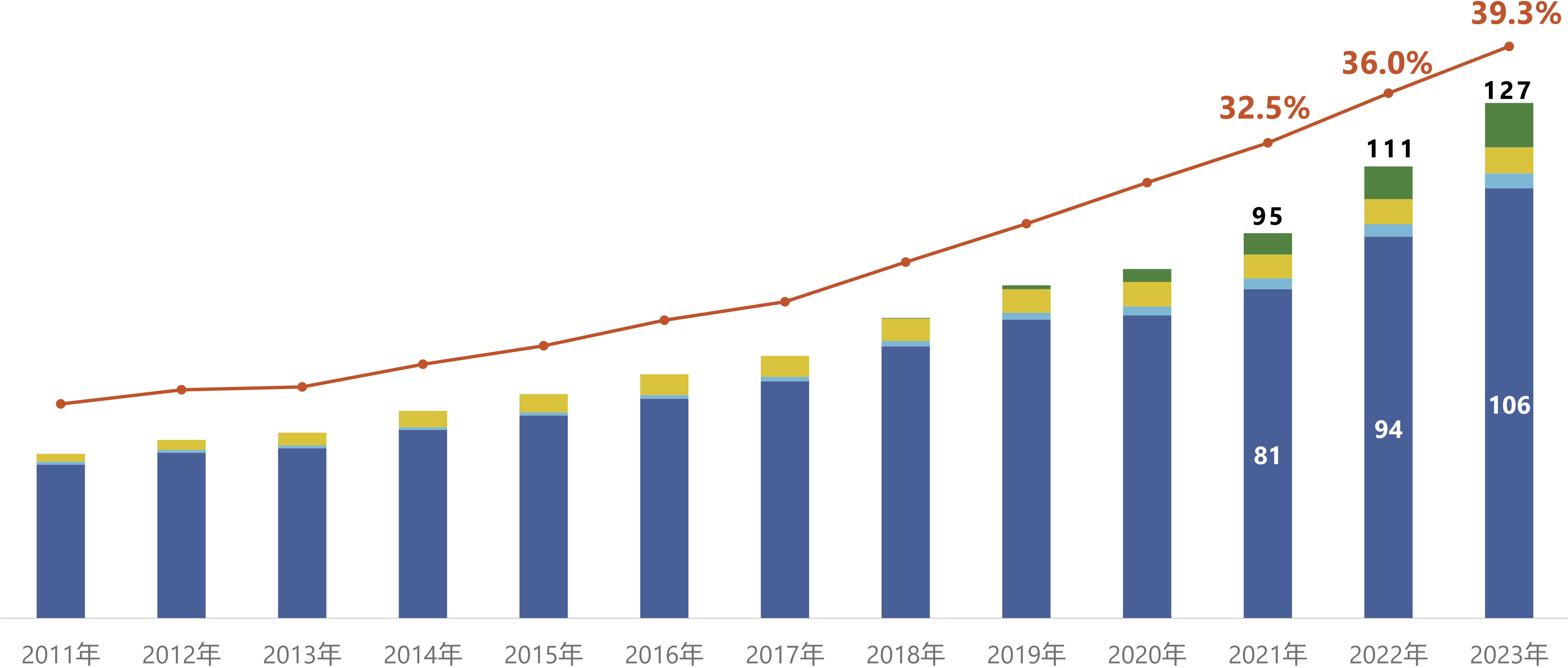
出典：消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計、金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）

キャッシュレス市場

キャッシュレス決済額及び決済比率の推移

単位：兆円

■QRコード ■電子マネー ■デビットカード ■クレジットカード ●決済比率



出典：経済産業省HP

アイフルグループの事業

グループ全社一丸となって、全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造を目指す



ローン・保証  アイフル	事業者ローン  AG メディカル  AG ビジネスサポート	クレジット・電子マネー  	個別信用購入斡旋・後払い決済  AG ペイメントサービス
クラウドファンディング  AG クラウドファンディング	ベンチャーキャピタル  AG キャピタル	サービサー  AG 債権回収	企業再生  AG パートナース
リースバック・家賃保証  AG 住まいるリースバック 	少額短期保険事業 	システム・エンジニアリング・サービス   	海外  AIRA & AIFUL (タイ王国)  REKSA FINANCE Anchoring your TRUST in our INTEGRITY (インドネシア共和国)

— 本資料に関する注意事項 —

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。